

**フロント装着式モア用 60、72
in 側面排出型デッキ、62 in 後
面排出型デッキ、60、72 in
GLC 側面排出型デッキ**



JOHN DEERE



**オペレータマニュアル
フロント装着式モア用側面排出型お
よび後面排出型モアデッキ**

OMTCU38479 版 : E4 (JAPANESE)

John Deere Turf Care

**輸出モデル
Printed in U.S.A.**



オペレータマニュアルの使用

作業を行う前に、オペレータマニュアル全体、特に安全関連の情報を確認してください。

このマニュアルは、お使いの作業機の重要な構成要素となります。すべてのマニュアルを手の届きやすい場所に保管してください。

作業機のオペレータマニュアルとともに、アタッチメントのオペレータマニュアルに記載されている安全および操作関連の情報を参照し、アタッチメントを安全かつ正しく整備し操作してください。

アタッチメントのマニュアルに「作業機の準備」というセクションが含まれている場合は、アタッチメントを取り付ける前にお使いのトラクターまたは車両に対して何らかの準備が必要となります。このマニュアルの「組み立ておよび取り付け」のセクションには、お使いのトラクターまたは車両にアタッチメントを組み立てて取り付けるための情報が記載されています。お使いのアタッチメントに必要な調整やルーチン作業の整備を行う場合は、「整備」のセクションを参照してください。

このアタッチメントの組み立て、取り付け、または操作に関するお問い合わせは、お近くの John Deere 取扱店にご連絡いただくか、John Deere カスタマーコンタクトセンター (1-800-537-8233) にお電話ください。

John Deere 製アタッチメントの保証に関する情報は、お使いの John Deere 製トラクターまたは車両に付属している保証書でご確認いただけます。

機械の用途

この機械は、一般的な芝生の芝刈り作業にのみ用いるよう設計されています。他の方法に使用すると、使用目的に反しているとみなされます。

メーカーは、このような誤使用の結果として生じた損傷やけがについて一切責任を負いません。これらの危険はすべてユーザーが負う必要があります。また、メーカーが指定する操作、整備、修理の条件を順守し、厳密に従うことも使用目的の重要な要素を構成しています。

本機の操作、整備および修理は、本機のすべての特性を理解し、関連する安全上の規則（事故の防止策）を熟知している者に限り行うことができます。事故防止規則、一般的に認められている安全衛生上の規則、交通法規を常に順守する必要があります。

製造時の仕様を超える燃料供給の設定や出力の超過を行った場合、本機の保証対象外となる場合があります。

この機械を勝手に改造した場合、その結果として生じる損傷やけがに対してメーカーはすべての責任を免除されます。

60 および 72 in MCS デッキは MCS なしでも使用できますが、MCS は他のデッキとともに使用することはできません。

特殊なメッセージ

このマニュアルには、潜在的な安全上の懸念、機械の損傷に注意をうながす特殊なメッセージに加え、役に立つ運転および整備情報が掲載されています。すべての情報を注意深く読み、けがや機械の損傷を防止してください。



注意：けがを防止してください! この記号とテキストは、危険要素や手順を無視した場合に発生する可能性がある、オペレータや近くにいる人の潜在的な危険または死亡事故の可能性について強調しています。

重要：損傷を防止してください! このテキストは、機械の損傷の原因になる可能性があるオペレータの操作や条件を伝えるために使用されています。

注記：オペレータが機械を運転または整備するときに役立つ一般情報は、このマニュアル全体にわたって掲載されています。

目次

目次

概要	2
製品識別	3
安全ラベル	4
安全	7
組み立て	7
取り付け	9
取り外しと保管	15
操作	16
点検間隔	21
整備潤滑	22
モアの整備	24
トラブルシューティング	31
仕様	32
適合宣言	33
整備のお問い合わせ	34

製品識別

識別番号の記録

60 in 7-Iron™ 側面排出型

PIN (100001～)

72 in 7-Iron™ 側面排出型

PIN (100001～)

62 in Fastback™ 後面排出型

PIN (100001～)

60 in 7-Iron™ GLC

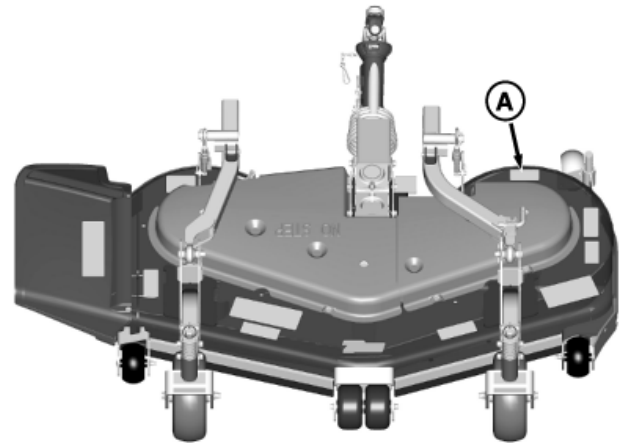
PIN (100001～)

72 in 7-Iron™ GLC

PIN (100001～)

整備に関する情報を認定サービスセンターに問い合わせる必要がある場合は、必ず製品のモデルとシリアル番号を用意してください。

モアデッキのモデルおよびシリアル番号を確認し、情報を以下の空欄に記録してください。



TCT008387—UN—22AUG13

60 in ◆◆◆◆◆◆◆◆

購入日：

取扱店名：

取扱店の電話番号：

製品シリアル番号 (A)：

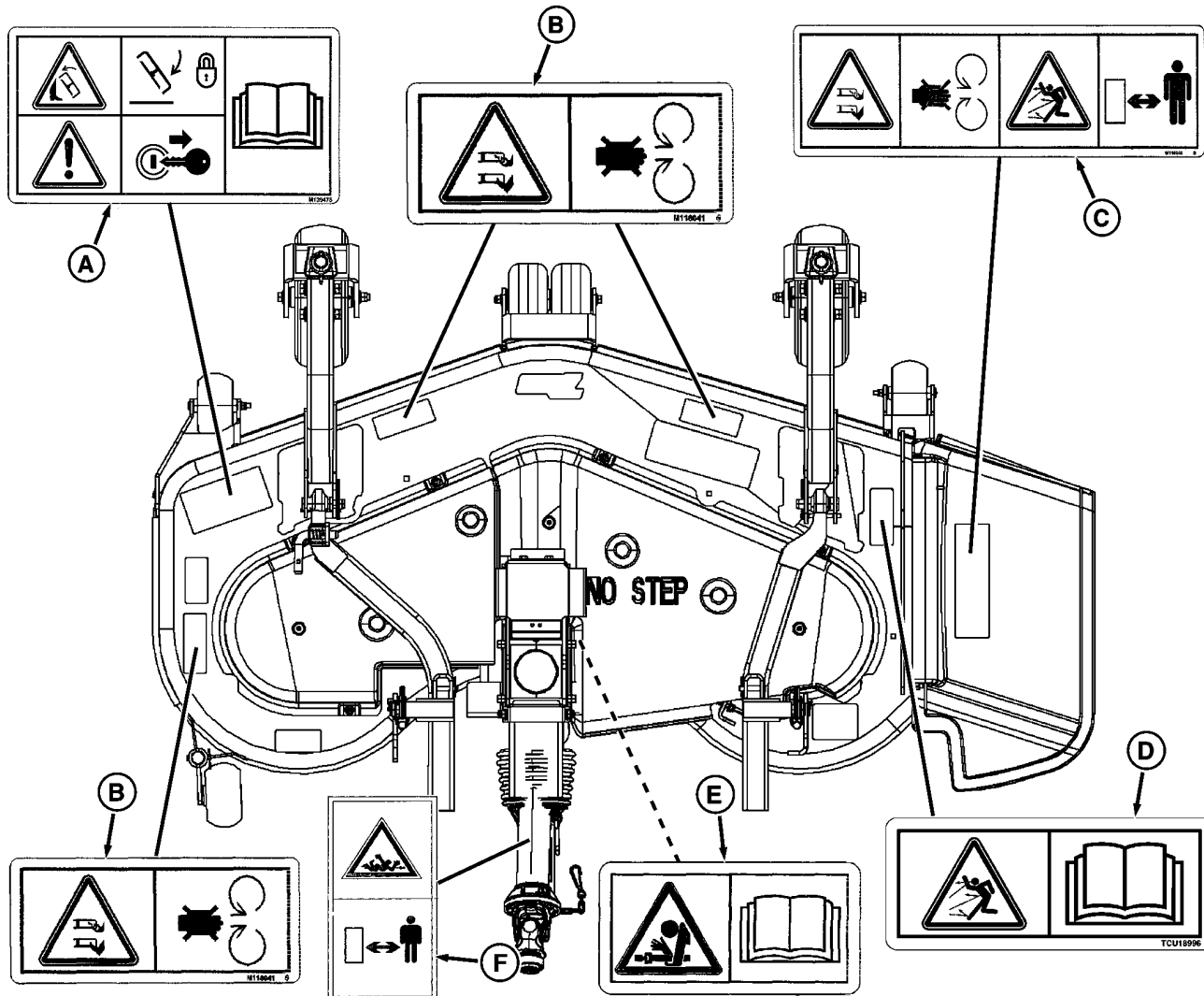
本文書は翻訳版です。
このマニュアルに掲載の全ての情報、画像、仕様は、発行時の情報に基づいています。
予告なしに変更されることがあります。

COPYRIGHT © 2014
DEERE & COMPANY
Moline, Illinois
All rights reserved
A John Deere ILLUSTRATION © Manual
Previous Editions
Copyright © 2013, 2010, 2009, 2007, 2005, 2004, 2001

安全ラベル

安全ラベル

安全ラベルの位置 (62 in 後面排出型を除く)



TCT008388—UN—25FEB14

A — けがの防止とオペレータマニュアルの確認 M139475

B — 回転ブレードによるけがの防止 M118041

C — 回転ブレードや飛来物によるけがの防止 M118040

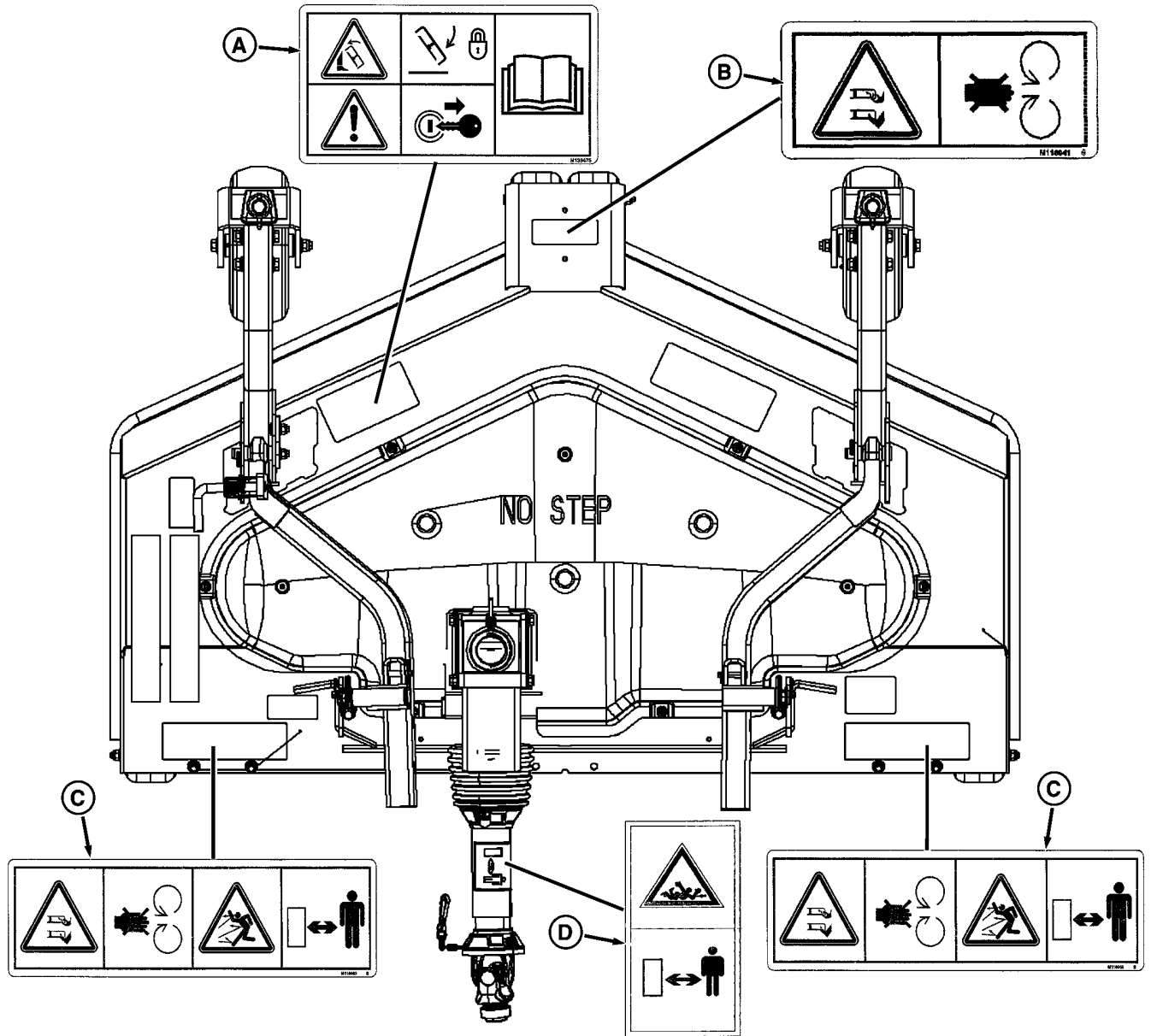
D — 飛来物によるけがの防止 TCU18996

E — 回転シャフトやドライブラインによるけがの防止 (GLC デッキのみ) M121419

F — 回転シャフトやドライブラインによるけがの防止 M119516

安全ラベル

安全ラベルの位置 (62 in 後面排出型)



TCT008389—UN—19FEB14

A — けがの防止とオペータマニュアルの確認 M139475
B — 回転ブレードによるけがの防止 M118041

C — 回転ブレードや飛来物によるけがの防止 M118040
D — 回転シャフトやドライブラインによるけがの防止 M119516

絵入りの安全標示ラベル



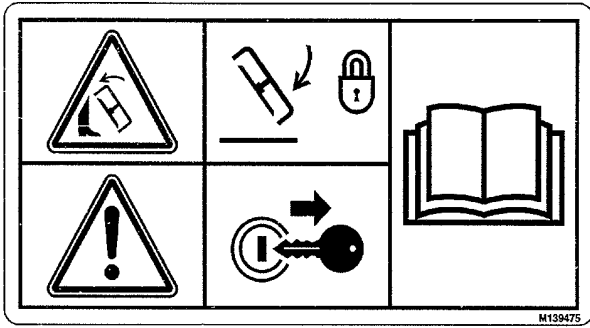
TCT005498—UN—11SEP12

この機械のいくつかの重要な場所には、潜在的な危険を知らせるために安全標示ラベルが貼られています。危険要素は、警告用三角ラベルの絵で示されます。隣接する絵はけがを防ぐための情報を提供します。これらの安全標示ラベル、機械上のラベルの位置、および簡単な説明をこの「安全」セクションに示します。

販売業者から供給される部品については、このオペータマニュアルに転載されていない追加の安全情報が存在する可能性があります。

安全ラベル

けがの防止とオペレータマニュアルの確認



TCAL46502—UN—12APR13

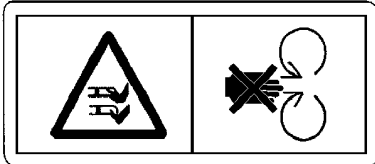
けがの防止

- シールドを取り外した状態でモアを作動させないでください。
- エンジン運転中は、モアデッキに手足を近づけないでください。
- モアから離れる前にイグニッションキーを抜いてください。
- ブレードは鋭いため、デッキを上げる際は注意してください。
- オペレータマニュアルのすべての指示事項を読み、理解し、順守してください。

整備前

- モアを下げるか、整備ロックで上昇位置に固定します。
- エンジンを停止し、イグニッションキーを抜いてから整備を行います。

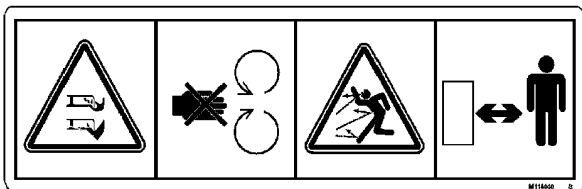
回転ブレードによるけがの防止



TCAL46501—UN—12APR13

- エンジン作動中、モアの下または中に手足を入れないでください。
- 排出シュートなしで、またはグラスキャッチャ全体を取り付けない状態でモアを作動させないでください。

回転ブレードや飛来物によるけがの防止

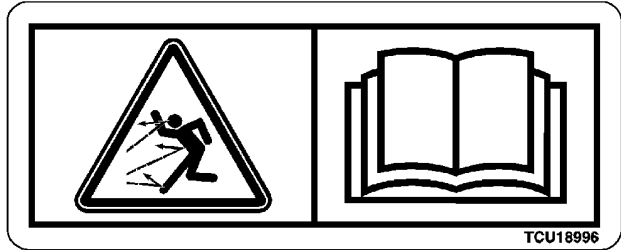


TCAL46500—UN—12APR13

- エンジン作動中、モアの下または中に手足を入れないでください。
- 排出シュートなしで、またはグラスキャッチャ全体を取り付けない状態でモアを作動させないでください。

- 刈り作業を行う前に、ブレードで飛ばされる可能性のある物体を除去します。
- エンジン運転中は近づかないでください。

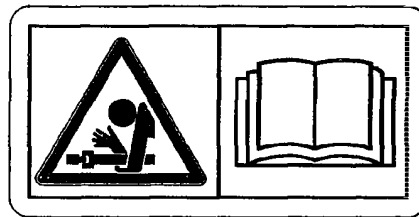
飛来物によるけがの防止



TCT009181—UN—26OCT13

- 刈り作業を行う前に、ブレードで飛ばされる可能性のある物体を除去します。
- オペレータマニュアルのすべての指示事項を読み、理解し、順守してください。

回転シャフトやドライブラインによるけがの防止 (GLC デッキのみ)



TCT009182—UN—26OCT13

- 回転シャフトやドライブラインに近づかないでください。
- オペレータマニュアルのすべての指示事項を読み、理解し、順守してください。

回転シャフトやドライブラインによるけがの防止



TCAL46503—UN—12APR13

- 回転シャフトやドライブラインに近づかないでください。
- 回転シャフトから、手、足、衣服を遠ざけてください。
- 周辺に人を近づけないでください。

安全

安全な作業

このデッキは、John Deere フロントモアで使用するよう想定されています。機械に付属しているオペレータマニュアルに記載されている、安全な作業に関する情報を参照してください。

組み立て

エンクローージャシステムの取り付け

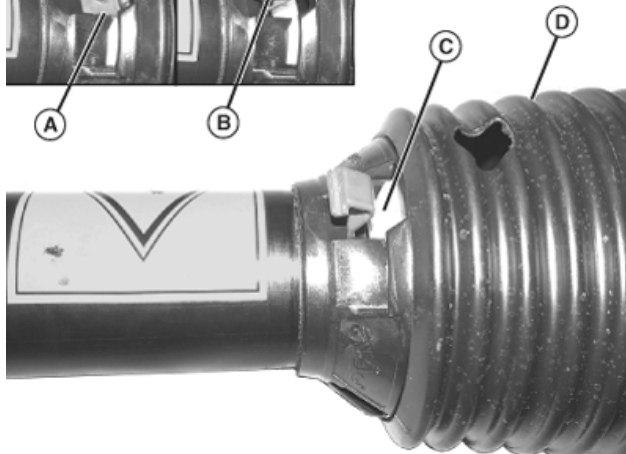
重要： 損傷を防止してください。62 in 後面排出型デッキを使用するすべての機械にエンクローージャキットを取り付け、重い芝や草が機械に堆積しないようにしてください。

エンクローージャキットは、62 in 後面排出型デッキとともに取り付ける単体のキットです。62 in 後面排出型モアデッキとともに機械を操作する前に、機械のエンクローージャキットに関する指示事項に従ってエンクローージャキットを取り付けてください。

キャスターホイール

両側のホイールのホイールベアリングから浸み出すまで、キャスターホイールのグリースフィッティングに推奨グリースを注入してください。他のキャスターホイールについても作業を繰り返します。

PTO シャフトの取り付け



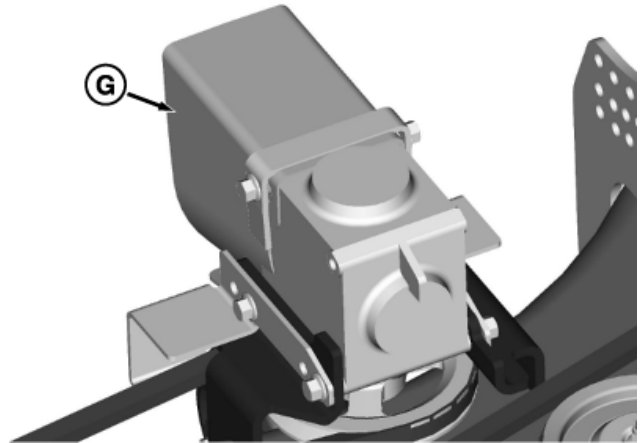
TCAL46508—UN—12APR13

1. ドライバー等の工具を使用してシールドロックタブ (A) を解除し、ドライブシャフトの中心の方に返します (B)。
2. ドライブシャフトのヨークをつかみ、内側の白色のリング (C) を回して外側のシールド (D) を解除します。



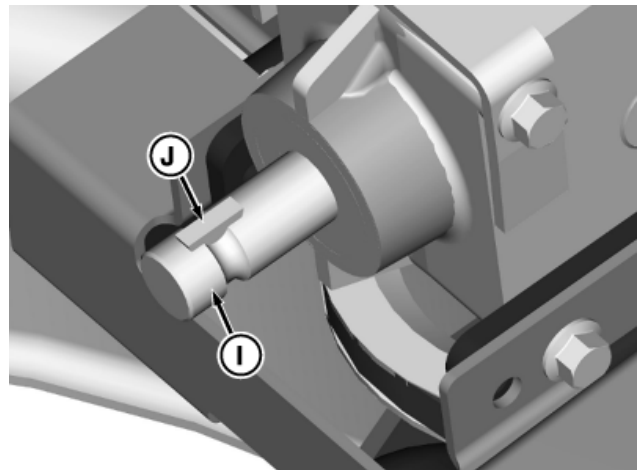
TCAL46509—UN—12APR13

3. シールド (E) をスライドさせてヨーク (F) から離します。



TCT010388—UN—25FEB14

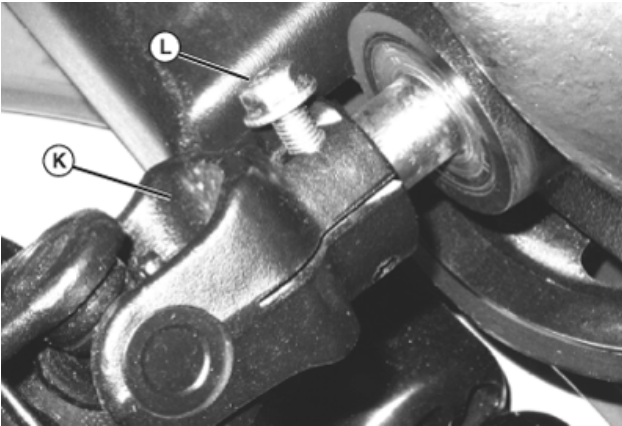
4. モアデッキ上部のゴムシールド (G) を後に引き、ギアボックスのインプットシャフトにアクセスします。



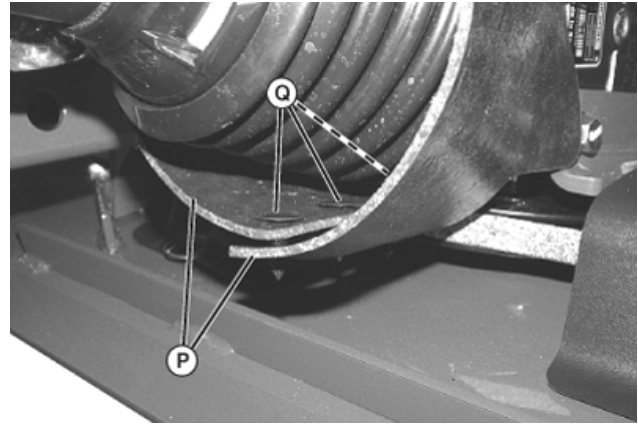
TCT009183—UN—26OCT13

5. シャフト (I) をワイヤブラシで清掃します。部品袋に入っているシャフトのキー (J) を取り付けます。

組み立て



TCAL46512—UN—12APR13

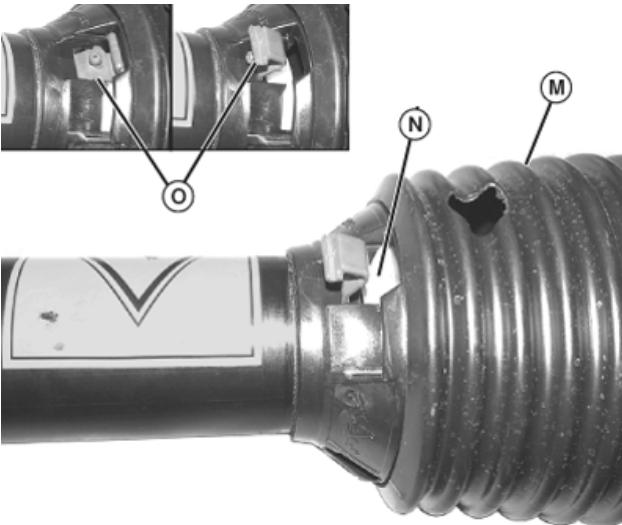


TCAL46514—UN—12APR13

6. キーとシャフトのスロットをヨークに合わせ、ヨーク (K) をインプットシャフトに取り付けます。
7. 部品袋に入っている M10x50 フランジ付きボルト (L) をヨークに取り付け、既定のトルクで締め付けます。

仕様

PTO シャフトのヨークのボルト — トルク122 N·m (90 lb.-ft.)



TCAL46513—UN—12APR13

8. シールド (M) をヨーク上にスライドさせ、内側の白色のリング (N) を回し、タブ (O) をかませてシールドを固定します。

9. ゴムシールド (P) をドライブシャフトのシールドの周りにかぶせ、3 個のプッシュリテーナ (Q) で固定します。
10. ドライブシャフトのシールドから各チェーンのプラスチックバッグを取り外します。

デフレクタの取り付け (60、72 in 側面排出型)



注意： けがを防止してください。部品はスプリング張力がかかった状態で取り付けられています。スプリング張力のかかっている部品の取り付け、取り外し時は、ゴーグルを着用し、適切な工具を使用してください。



TCT010989—UN—30MAR14

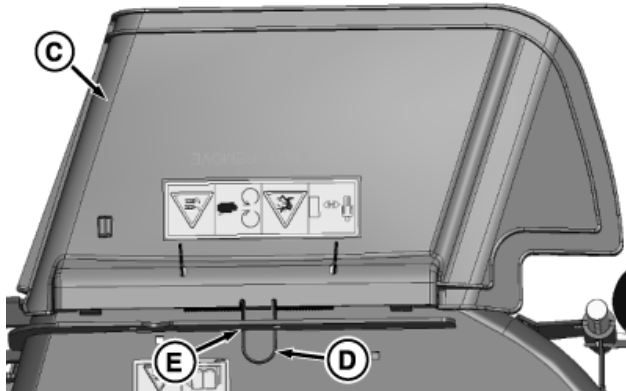
1. ピボットピン (A) をデフレクタから取り外します。



TCT010990—UN—30MAR14

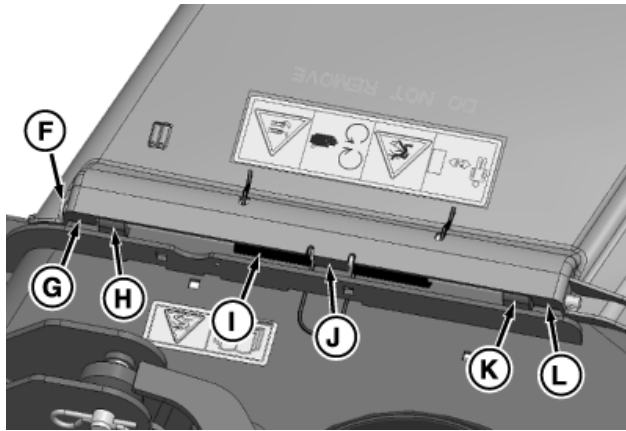
取り付け

- 部品袋に入っているシュートのヒンジのスプリング (B) を探します。図のように、デフレクタのシュートのスロットにスプリングの両端を取り付けます。スプリングの脚が下に向くようにします。



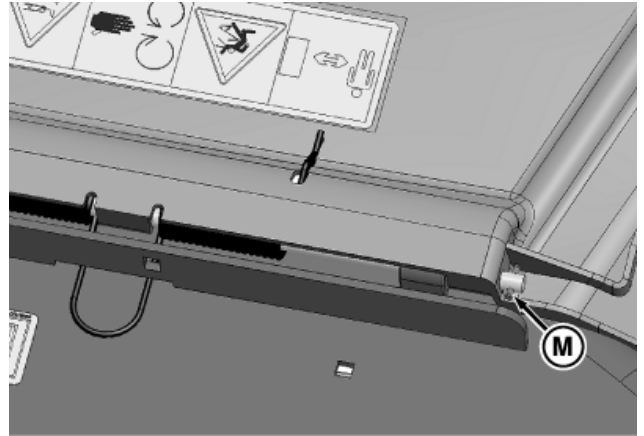
TCT010991—UN—30MAR14

- スプリングの本体をシュートのピボット穴に合わせ、モアデッキの排出開口部の横にデフレクタのシュート (C) を位置決めします。スプリングの丸くなった先端 (D) をモアデッキの上部に配置し、モアデッキの補強ブラケットのノッチ (E) に通してスライドさせます。



TCT010992—UN—30MAR14

- シュートのピボットピン (F) を、フロントシュートのピボット (G)、フロントデッキサポート (H)、シュートスプリング (I)、ミドルシュートのピボット (J)、リアデッキサポート (K)、およびリアシュートのピボット (L) に挿入します。



TCT010993—UN—30MAR14

- スプリングピン (M) (部品袋に入っているもの) を排出シュートのヒンジのピン端部にある穴に取り付けます。ポンチとハンマーを使用してピンを所定位置にはめます。

取り付け

適切なバラストの取り付け (1435、1445、1545、1565)

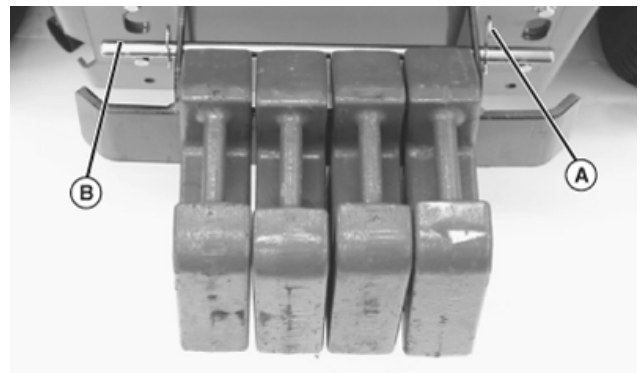
注意： けがを防止してください。装置を取り付けた状態で操作する時、機械が不安定なる場合があります。アタッチメントを取り付けているときは、バラストが必要です。

アタッチメントを取り外したときは、機械に追加したバラストも取り除きます。

メーカーが推奨する装置やアクセサリのみを使用してください。

モアデッキをフロントモアに取り付ける際、以下の数量の John Deere 19 kg (42 lb) スーツケースウエイトをリアウエイトブラケットキットに追加し、フロントモアを安定させてください。

- 60 in 側面排出型モアデッキ：ウエイトなし
- 72 in 側面排出型モアデッキ：ウエイト 2 個
- 62 in 後面排出型モアデッキ：ウエイト 1 個



TCAL46533—UN—12APR13

- スプリングピン (A) を取り外します。
- ロッド (B) をウエイトブラケットから引き出します。
- 指示に従って、John Deere 19 kg (42 lb) スーツケースウエイトをウエイトブラケットに追加します。

取り付け

4. ロッド (B) を取り付け、スプリングピン (A) で固定します。

取り付け

適切なバラストの取り付け (1550、1570、1575、1580、1585)

注意： けがを防止してください。装置を取り付けた状態で操作する時、機械が不安定な場合があります。アタッチメントを取り付けているときは、バラストが必要です。

アタッチメントを取り外したときは、機械に追加したバラストも取り除きます。

メーカーが推奨する装置やアクセサリのみを使用してください。

モアデッキをフロントモアに取り付ける際、以下のウェイトを追加し、フロントモアを安定させてください。

	60SD Export**	72SD Export**	62RD Export
キャビン	(5) リアウエイト* 使用時の標準ホイールトラック幅	(6) リアウエイト* 使用時の幅広ホイールトラック幅	(2) 左側および右側ホイールウエイトと (5) リアウエイト* 使用時の標準ホイールトラック幅 または (5) リアウエイト* 使用時の幅広ホイールトラック幅
キャビンなし	(0) リアウエイト使用時の標準ホイールトラック幅	(2) リアウエイト* 使用時の標準ホイールトラック幅	(0) リアウエイト使用時の標準ホイールトラック幅
*19 kg (42 lb) リアスーツケースウエイト			
**ホッパーを取り付ける場合のバラストの推奨条件については、MCS または GLC のオペレータマニュアルを参照してください。			

リアウエイトの取り付け方法：



TCAL46533—UN—12APR13

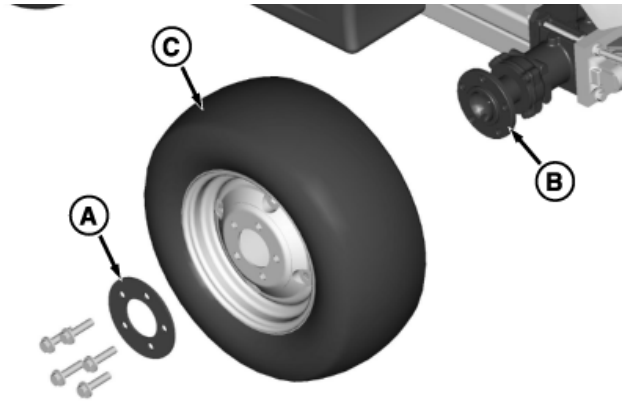
1. スプリングピン (A) を取り外します。
2. ロッド (B) をウエイトブラケットから引き出します。
3. 指示に従って、John Deere 19 kg (42 lb) スーツケースウエイトをウエイトブラケットに追加します。
4. ロッド (B) を取り付け、スプリングピン (A) で固定します。

フロントホイールトラック幅の調整

キャビン (1575 または 1585) を装備した TerrainCut™ モアを操作する場合は、ホイールトラック幅を適切なバラストで調整する必要があります。

狭い幅のデッキ (60SD または 62RD) を取り付けの場合は、標準のト

ラック幅を使用すると良い刈り込みの成果が得られます。



TCT011199—UN—29MAY14

1. ホイールボルト、座金、ホイール、および補強リング (A) をフロント車軸のハブ (B) から取り外します。金具と補強リングは今後使用するために保管しておきます。
 2. タイヤが車両から離れてオフセットされるようにホイールを向け、車軸のハブにホイール (C) を取り付けます。
- 注記：バルブシステムは車両の方を向く内側のホイール上に位置します。
3. 幅広または標準のホイールトラック位置では、補強リング (A) を必ずホイールの外側に配置します。
 4. ホイールボルトを規定のトルクで締め付けます。(車両のオペレータマニュアルの「仕様」セクションを参照してください。)

タイヤ空気圧の点検

機械で輸送または刈り作業を行う前に、機械のすべてのタイヤの空気圧を点検してください。

- 機械の整備間隔ラベルで空気圧を確認してください。

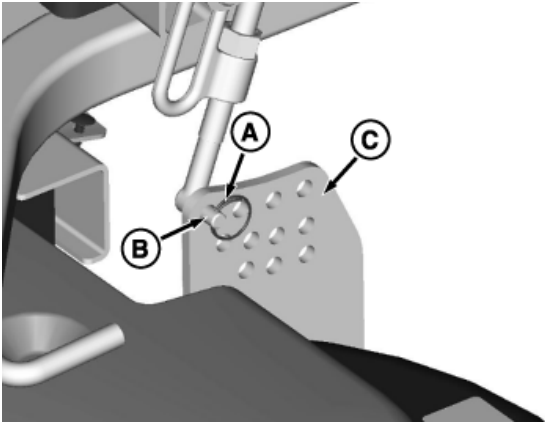
モアデッキの取り付け

注意： けがを防止してください。装置を取り外している時は、機械をゆっくり運転し、急停止を避けてください。装置を取り付けない状態で、機械を高速で運転しないでください。

注記：記載している手順は、60 in 側面排出型デッキの場合です。62 in と 72 in デッキの場合の手順は同じです。

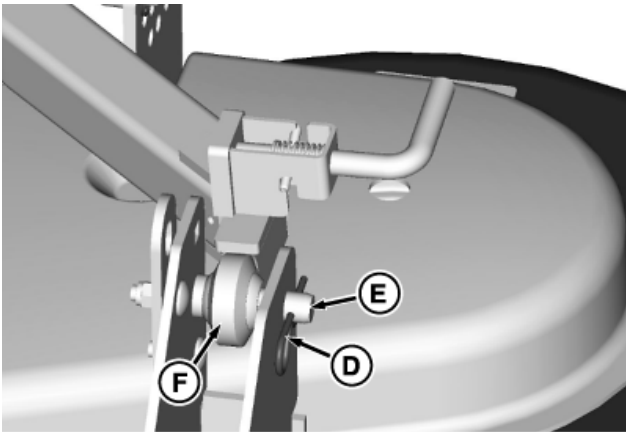
1. 機械をモアデッキの所まで運転し、機械の中心をモアデッキのドライブシャフトに合わせます。
2. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)

取り付け



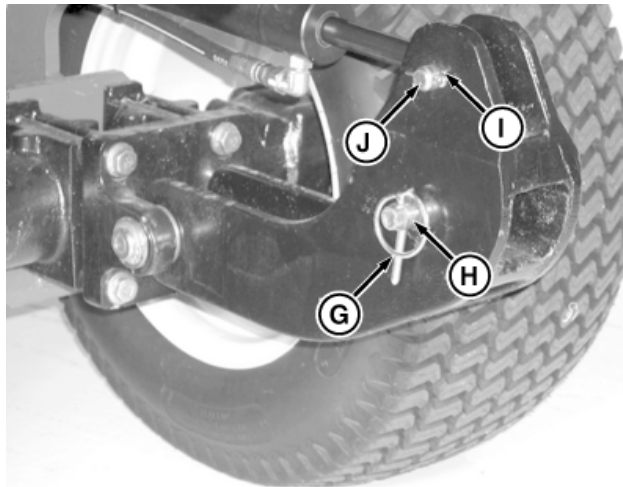
TCT010389—UN—25FEB14

3. リテーナリング (A) をデッキの両側のハンガーピン (B) から取り外します。
4. ハンガーピンを調整プレート (C) から引き出します。



TCT008390—UN—19FEB14

5. スプリングピン (D) とドリルピン (E) をリフトアーム前部 (F) から取り外し、リフトアームをモアデッキから取り外します。



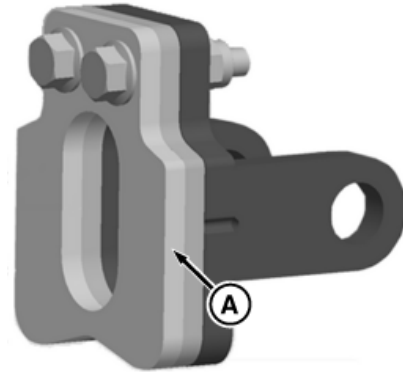
TCT007303—UN—02MAY13

6. ヒッチピン (G) とドリルピン (H) を各リフトアームから取り外します。

7. モアデッキのリフトアームを機械のリフトアームソケットに挿入します。
8. リフトアームの穴をリフトアームソケットの穴と合わせ、機械の左側と右側にドリルピン (H) を取り付けます。ヒッチピン (G) をドリルピンに取り付けます。

注意： けがを防止してください。油圧部品にはエネルギーが蓄積されている可能性があります。機械を整備する前に、装置の部品を完全に降ろして油圧コントロールレバーを前後に動かし、油圧部品の圧力を慎重に解放してください。

9. コッタピン (I) を取り外します。ドリルピン (J) を取り外し、シリンダを取り外します。

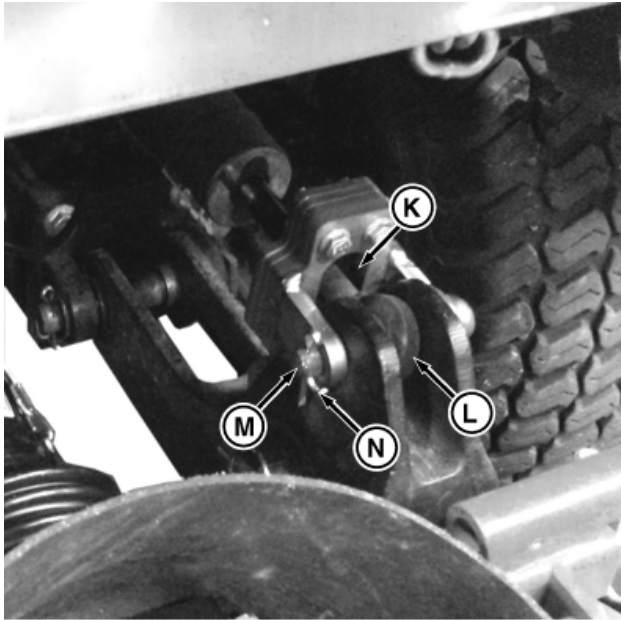


TCT008254—UN—09AUG13

10. 必要な数のスペーサ (A) を上部ストップに追加します。

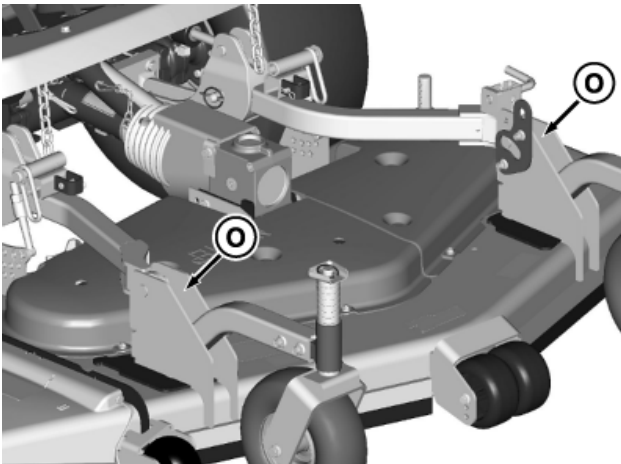
デッキ	タイヤサイズ	上部ストップのブラケット	スペーサ
60 in SD	23 インチ	Y	0
	26 インチ	Y	3
62 in RD	23 インチ	Y	3
	26 インチ	Y	5
72 in SD	23 インチ	Y	1
	26 インチ	Y	3
60 in SD GLC	23 インチ	Y	0
	26 インチ	Y	3
72 in SD GLC	23 インチ	Y	1
	26 インチ	Y	3

取り付け



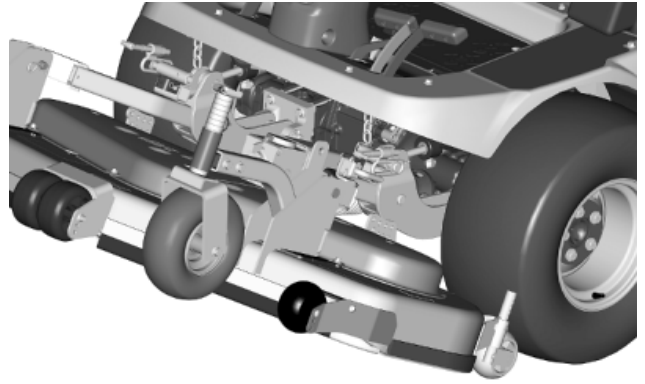
TCT008253—UN—09AUG13

11. リフトシリンダのシャフトを、上部ストップのブラケット (K) の開口部に通して取り付けます。
12. 脚をリフトアームとシリンダ (L) の穴に合わせます。キットに同梱されている新品のドリルピン (M) とコッタピン (N) で固定します。



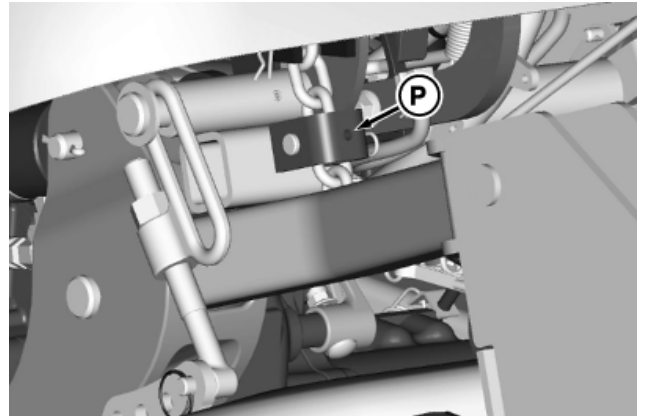
TCT008391—UN—25FEB14

13. フロント装置のブラケット (O) がリフトアーム端部と合うようにモアデッキを位置決めします。
14. 装置のリフトレバーを前に押してフロート位置にします。
15. 端部がフロント装置のブラケットの所まで下がるまで、リフトアームを押し下げます。
16. ドリルピンをブラケットとリフトアームに通して取り付け、スプリングピンで固定します。



TCT008395—UN—26AUG13

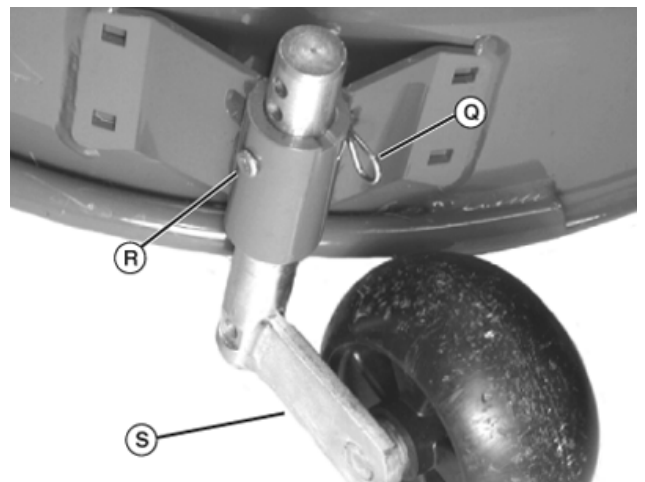
17. 機械を始動し、モアデッキを移動範囲の最上部まで上昇させます。エンジンを停止します。図のようにモアデッキが回転します。



TCT010373—UN—19FEB14

18. 整備用ラッチ (P) を左側と右側のモアデッキのリフトアームに固定します。

注記： 整備用ラッチのチェーンには、すべての構成に対応できるように 7 つのリンクが用意されています。最も強く締め付けられるチェーンリンクを選択してください。



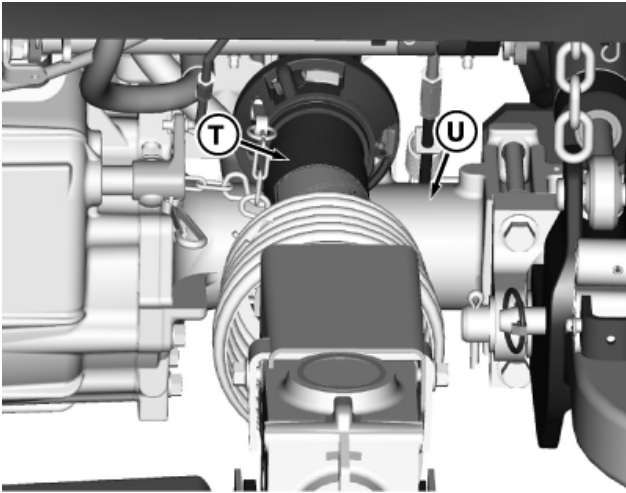
TCAL46540—UN—12APR13

19. **60 および 72 in デッキのみ**： スプリングピン (Q) とドリルピン (R) をアンチスカalpホイール (S) から取り外します。アンチス

取り付け

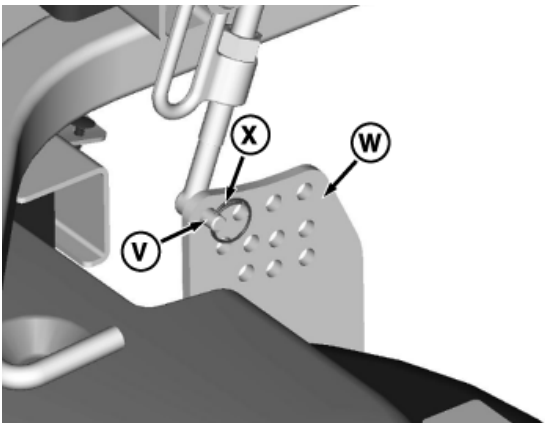
カルブホイールを最高位置まで上げ、ドリルピンとスプリングピンを取り付けます。

注記：60 in デッキにはコーナーホイールが 1 個、72 in デッキには 2 個あります。



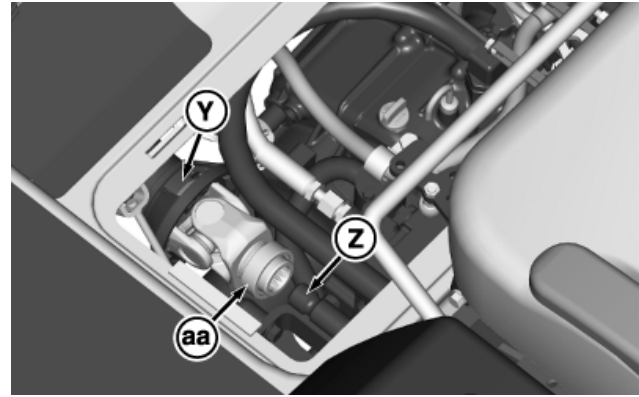
TCT008394—UN—26AUG13

20. モアデッキのドライブシャフト (T) を上昇させ、機械のフロント車軸 (U) の上にします。ドライブシャフトを伸長させ、車軸の上に乗せます。



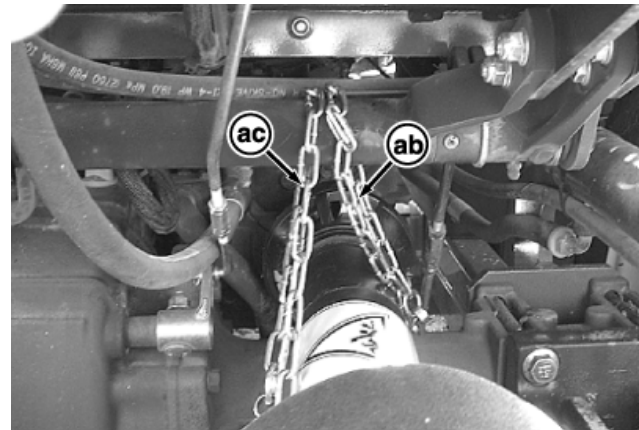
TCT010390—UN—25FEB14

21. モアデッキの後部を上げ、フロントキャスターホイールに応じて選択した刈り高と適合する調整プレート (W) の穴にハンガーピン (V) を取り付けます。(右後の刈り高調整プレート付近にあるラベルを参照してください。)
22. リテーナリング (X) をハンガーピンに取り付けます。他のリフトアームについても繰り返します。



TCT008393—UN—26AUG13

23. 機械の整備用ハッチを外し、以下の手順でモアデッキのドライブシャフト (Y) を機械の PTO アウトプットシャフト (Z) に取り付けます。
- モアデッキのドライブシャフトを PTO アウトプットシャフトに押し込みます。(モアデッキのドライブシャフトを回し、2本のシャフトのスプラインを整列しなければならない場合があります。)
 - スプラインがそろってドライブシャフトがかみ合い始めた後、カプラーリング (aa) を前に引っ張り、カプラーが所定位置に固定されるまでモアデッキのドライブシャフトを PTO アウトプットシャフトの方に押し続けます。
 - カプラーリングを解除します。
 - カプラーがシャフトに確実に固定されるまで、カプラーを押したり引いたりします。



TCT008405—UN—26AUG13

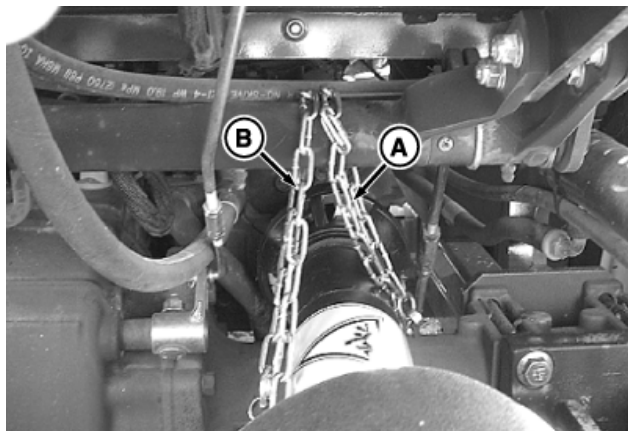
- フロント (ab) とリア (ac) のドライブシャフトのシールドのチェーンをブレーキクロスシャフトに取り付けます。モアデッキを移動範囲まで昇降させた時にたるみが最も小さくなるようにチェーンを調整します。
24. 整備用ハッチを閉じ、ラッチをかけます。
25. モアデッキの刈り高を設定します。
26. アンチスカルブホイールの高さが、水平な地面上で地表から 6 mm (1/4 in) になるように調整します。
27. 整備用ラッチのロックを解除します。
28. モアデッキを地表まで下げます。

取り外しと保管

取り外しと保管

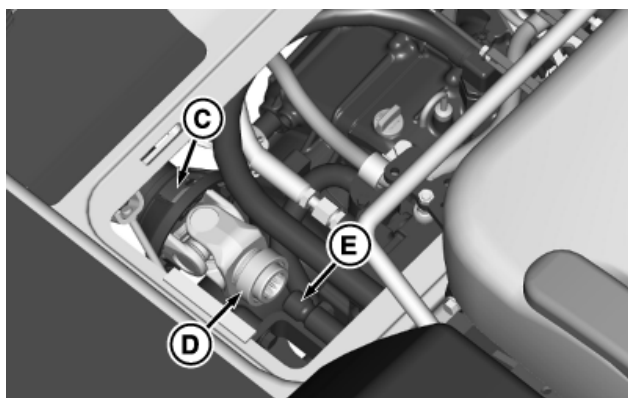
モアデッキの取り外し

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. モアデッキを上げ、整備用ラッチを固定します。



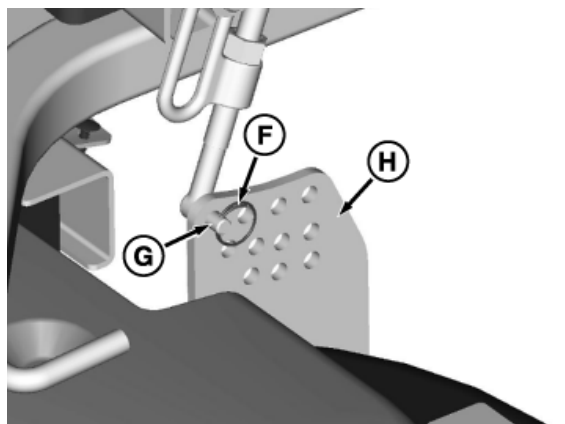
TCT008406—UN—26AUG13

3. フロント (A) とリア (B) のドライブシャフトのシールドのチェーンをブレーキクロスシャフトから取り外します。



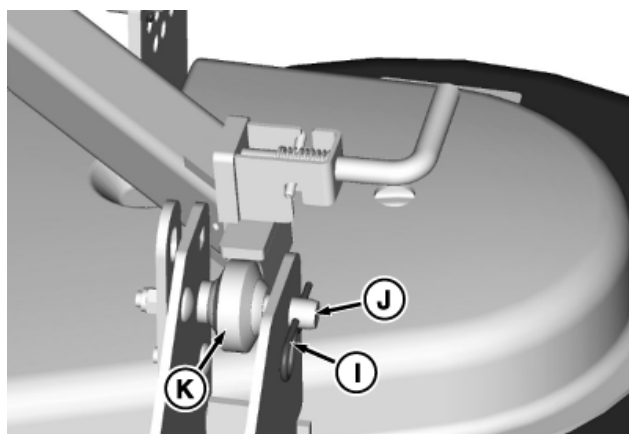
TCT008407—UN—26AUG13

4. 機械の整備用ハッチを外し、モアデッキのドライブシャフト (C) の位置を確認します。
5. カプラーリング (D) を前に引っ張り、ドライブシャフトを PTO アウトプットシャフト (E) から離します。



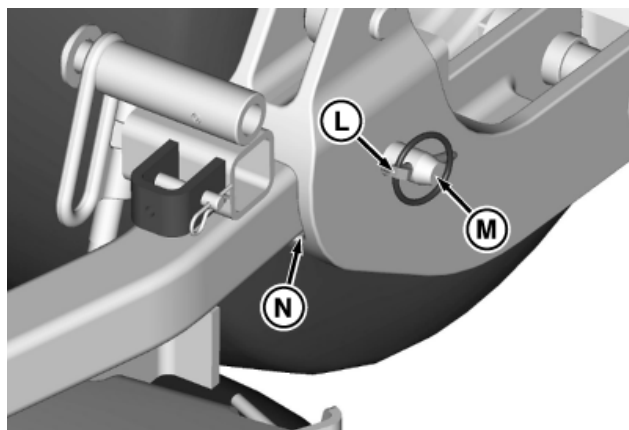
TCT008408—UN—27FEB14

6. リテーナリング (F) をハンガーピン (G) から取り外し、ハンガーピンを調整プレート (H) から取り外します。機械の反対側のリアデッキハンガーについても繰り返します。
7. モアデッキを整備位置まで回転させます。
8. 整備用ラッチを解除します。
9. モアデッキを地表まで下げます。



TCT008409—UN—27FEB14

10. スプリングピン (I) とドリルピン (J) をリフトアーム (K) の前部から取り外します。リフトアームをモアデッキから取り外します。

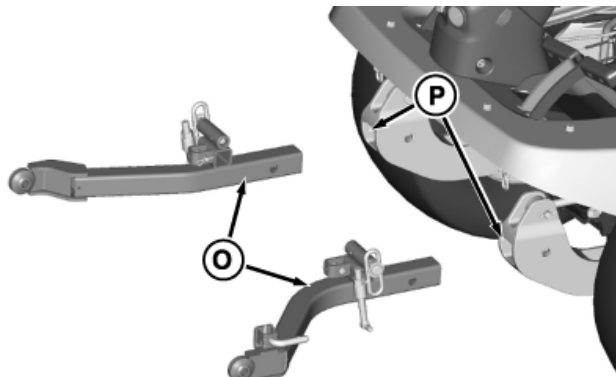


TCT008396—UN—27FEB14

操作

11. ヒッチピン (L) をドリルピン (M) から取り外し、ドリルピンをリフトアームソケット (N) から取り外します。機械の反対側で繰り返します。

注意： フロントの装置を上げた状態や取り外した状態で傾斜地で運転したり高速で運転すると、機械が不安定になる場合があります。装置を上げた状態や取り外した状態では低速で移動し、急ブレーキを避けてください。



TCT009571—UN—01DEC13

12. モアデッキのリフトアーム (O) を機械のリフトアームソケット (P) から引き抜きます。
13. ドリルピンをリフトアームソケットに取り付け、ヒッチピンで固定します。
14. リテーナリングをハンガーピンに再度取り付けます。
15. リフトアームとピンをデッキに再度取り付けます。

安全な保管

注意： 燃料蒸気は爆発性および可燃性があります。エンジンの排気ガスは一酸化炭素を含んでおり、深刻な病気や死亡事故の原因になります。

- 保管場所へまたは保管場所からの機械の移動に必要な時間のみエンジンを運転してください。
- 冷める前に機械を保管した場合、エンジンやマフラーの周辺から屑を取り除いていない場合、または可燃物の近くに保管した場合、機械や構造物の火災が発生するおそれがあります。
- タンクに燃料が残っている車両を、燃料蒸発ガスが直火や火花に達する可能性がある建物内に保管しないでください。
- 閉鎖区域に機械を保存する前にエンジンを冷ましてください。

装置の保管

注記：装置によっては、以下の手順の一部は該当しない場合があります。

1. 刈った草を MCS やバガー装置から取り除きます。
2. 装置を機械から取り外します。
3. 装置とドライブラインが装備されている場合は、ホースの水の圧力で洗浄します。
4. 必要に応じてシールドを取り外し、すべての屑を取り除きます。
5. 摩耗、曲がり、損傷がある部品は修理または交換します。緩んでいる金具を締め付けます。
6. 必要に応じて塗装面に塗料を塗り、錆を防ぎます。

7. ブレードまたはタインにグリースを薄く塗布し、錆を防ぎます。
8. ピボットピンをエンジンオイルで潤滑し、錆を防ぎます。
9. グリースポイントを潤滑します。

重要： 装置を粗い面に置くと損傷するおそれがあります。装置は平滑な面か木のブロックの上で保管してください。

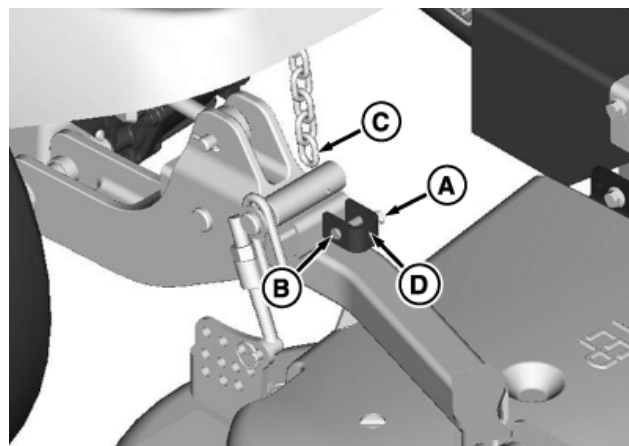
10. 装置を屋外で保管する場合は、可能であれば装置をブロックで固定し、防水カバーをかぶせます。

操作

整備用ラッチの使用

注意： けがを防止してください。機械を動かす前に整備用チェーンのラッチを外し、けがを防止してください。フロントの装置を上げた状態や取り外した状態で傾斜地で運転したり高速で運転すると、機械が不安定になる場合があります。装置を上げた状態や取り外した状態では低速で移動し、急ブレーキを避けてください。装置を上げた後も PTO は回転し続けます。使用しない時は PTO を停止してください。

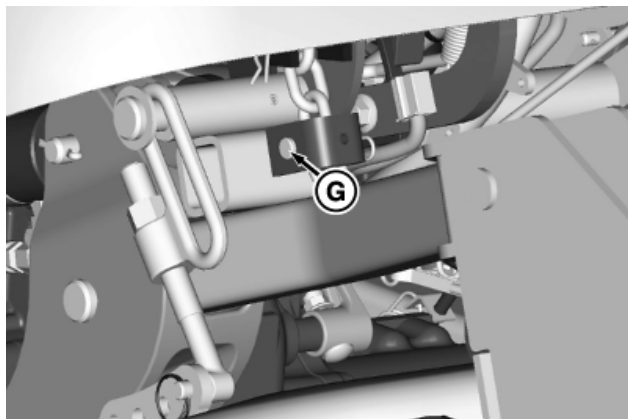
1. 機械は傾斜地ではなく水平な地面に止めてください。
2. PTO スイッチをオフにします。
3. モアデッキを最高レベルまで上げます。
4. パーキングブレーキをかけます。
5. エンジンを停止し、キーを抜きます。
6. 運転席を離れる前に、エンジンとすべての可動部が停止するのを待ちます。



TCT010375—UN—20FEB14

7. スプリングピン (A) とクレビスピン (B) をモアデッキのリフトアームから取り外します。
8. 整備用ラッチのチェーン (C) の下部リンクをモアデッキのリフトアームの溶接ブラケット (D) に挿入します。

注記：整備用ラッチのチェーンには、すべての構成に対応できるように 7 つのリンクが用意されています。最も強く締め付けられるチェーンリンクを選択してください。

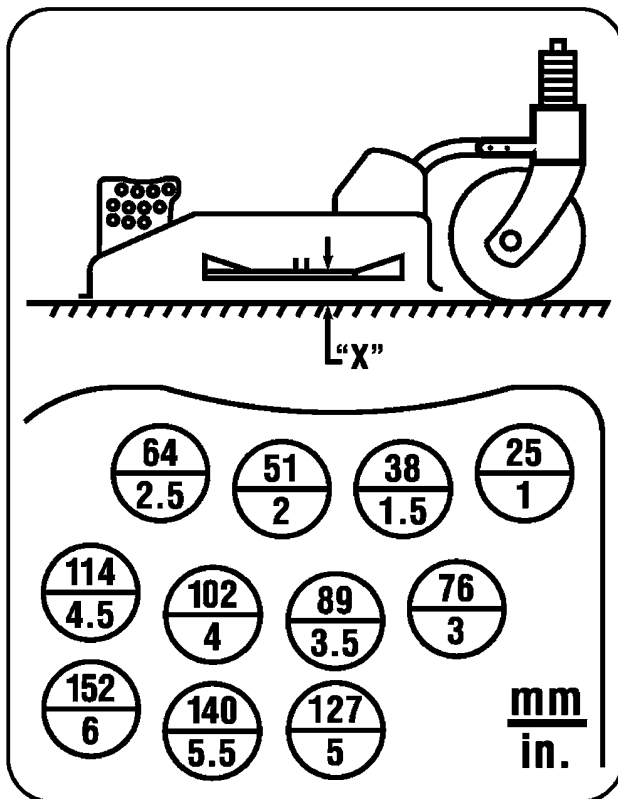


TCT010376—UN—20FEB14

9. 継ぎ手ピン (G) をブラケットとチェーンに通して取り付け、スプリングピンで固定します。

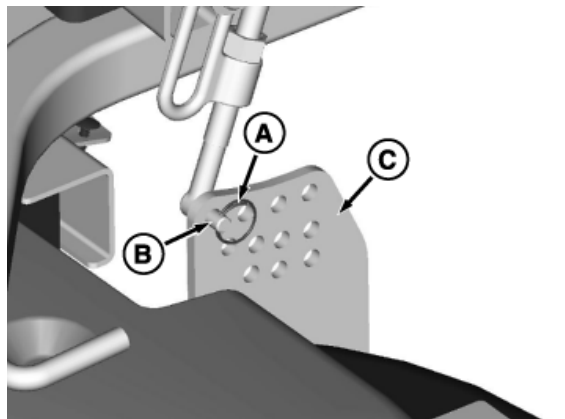
モアデッキの刈り高の調整

1. モアデッキを上げます。
2. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
3. 整備用ラッチを両方のリフトアームに固定します。



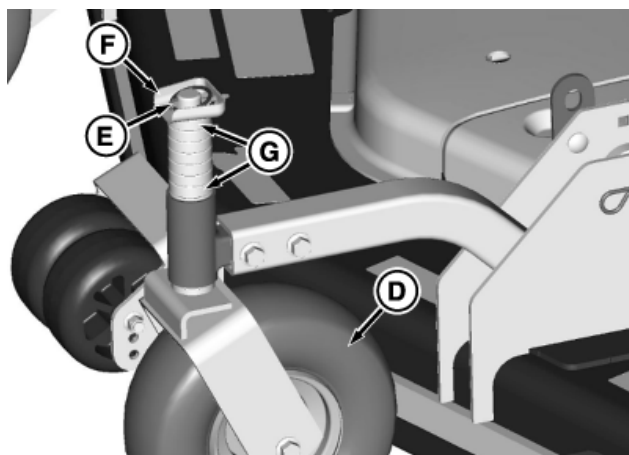
TCT008729—UN—25SEP13

4. モアデッキの前部と後部のステッカーに記載されている刈り高から選びます。



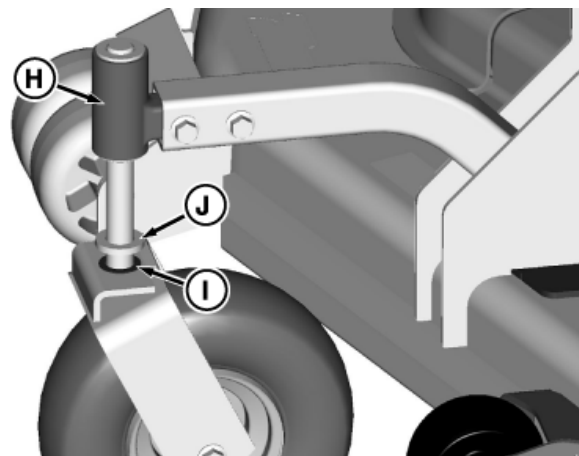
TCT010730—UN—27FEB14

5. モアデッキの左側と右側のリアハンガープレート (C) のハンガーピン (B) からリテーナリング (A) を取り外します。
6. ステッカーから選んだ刈り高に合った穴にハンガーピンを移動します。両方のハンガーピンをリテーナリングで固定します。



TCT010377—UN—20FEB14

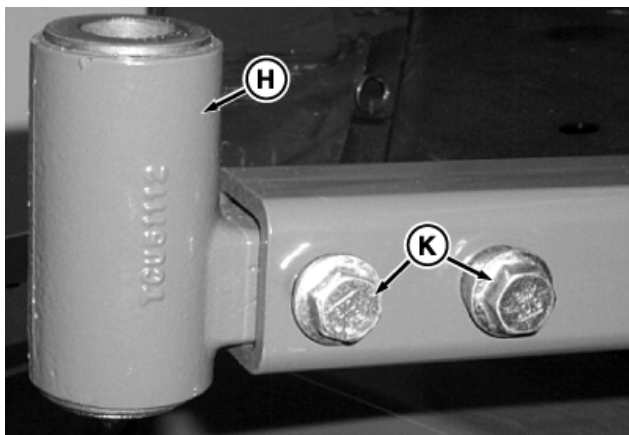
7. 片手でキャスターホイール (D) を支持しながら、クイックロックピン (E) とスペーサガード (F) を取り外します。
8. スペーサ (G) をキャスターホイールのピボットシャフト上部から取り外します。



TCT008731—UN—25SEP13

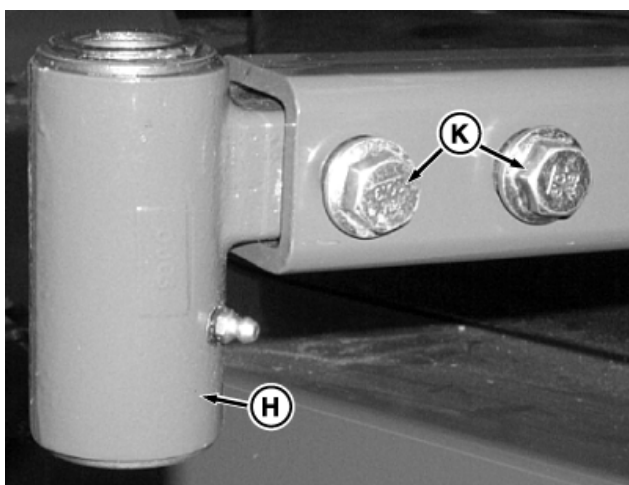
操作

9. 平座金 (I) と 1/4 in スペーサがキャスターホイールのピボットシャフトに残っているのを確認し、キャスターホイールを上げてキャスターホイールブラケット (H) から離します。
10. キャスターホイールブラケット (H) を位置決めします：



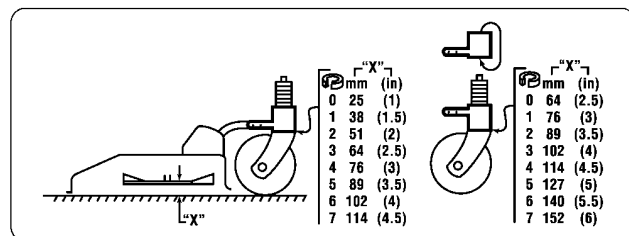
TCT008732—UN—25SEP13

- 通常の刈り高の範囲が 25～114 mm (1～4.5 in) の場合は、キャスターホイールブラケット (H) を上昇位置にします。



TCT008733—UN—25SEP13

- 通常の刈り高が 64～152 mm (2-1/2～6 in) の場合は、キャスターホイールブラケット (H) を下降位置にします。
11. キャスターホイールブラケットを正しい位置に動かします：
 - 2 個の取り付けボルト (K)、スペーサ、およびナットを取り外します。
 - ブラケットを 180° 回転させます。
 12. ボルト (K) を取り付け、キャスターホイールを組み付けてモアデッキのウエイトがキャスターホイールに戻るまでは完全には締め付けしないでおきます。
 13. 平座金 (I) が所定位置にあることを確認し、キャスターホイールをキャスターホイールブラケットに再度取り付けます。



TCT008734—UN—25SEP13

14. モアデッキのステッカーを参照し、刈り高 (X) の設定に必要なスペーサの数を確認します。
15. ホイールブラケットの上のキャスターピボットシャフトに残りのスペーサを配置します。
16. スペーサガードをスペーサの上部に取り付け、クイックロックピンで所定位置に固定します。
17. 整備用ラッチのロックを解除し、モアデッキを地表まで下げます。
18. キャスターホイールブラケットのボルトを既定のトルクで締め付けます。

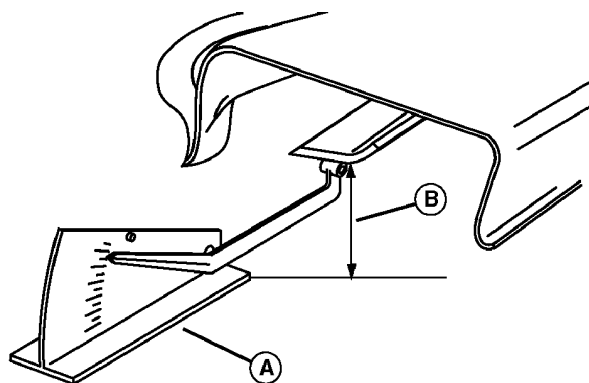
仕様

キャスターホイールブラケットのボルト トルク 81 N·m (60 lb.-ft.)

モアデッキレベルの点検

1. 作業機を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
 2. モアデッキを地表まで下げます。
 3. 機械のすべてのタイヤの空気圧を点検してください。
 - すべてのタイヤに空気を入れ、適切な空気圧にします。(機械の整備間隔ラベルで空気圧を確認してください。)
 4. モアデッキを目標の刈り高に設定します。
 5. フロントモアデッキのキャスターホイールとリアハンガーがすべて同じ高さに設定されていることを確認します。
- ⚠ 注意：ブレードは鋭利です。ブレードを取り扱う時、またはブレードの周辺で作業する場合は、必ず手袋を着用してください。**

6. ブレードをフロント車軸と平行になるまで回転させます。



TCAL46563—UN—12APR13

◆◆◆◆◆ AM130907 (A) ◆ John Deere ◆◆◆◆◆

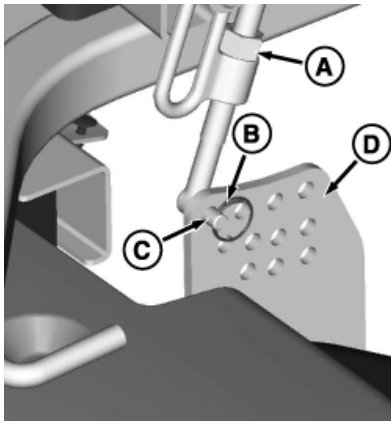
7. 外側のブレードの先端 (B) から地表までの距離を測定します。デッキの反対側の外側のブレードについても繰り返します。
8. 外側のモアブレードを前後方向に向くように回します。
9. ブレードの前部と後部から地表までの高さを測定します。デッキの反対側の外側のブレードについても繰り返します。
 - ブレードの刈り高は横方向に水平にする必要があります。

操作

- ブレードの高さは、リアで 3~6 mm (1/8~1/4 in) 高くする必要があります。
 - ブレード先端の高さを刈り高の設定と合わせる必要があります。
10. アンチスカンプホイールの高さが、水平な地面上で地表から 6 mm (1/4 in) になるように調整します。

モアデッキレベルの調整

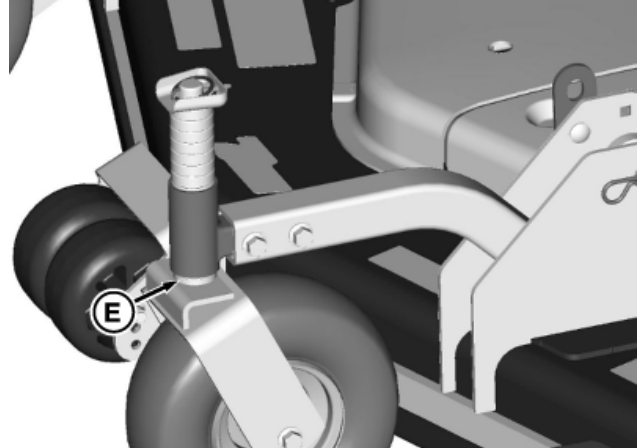
1. 車両のタイヤ空気圧が適正であることを確認します。(タイヤ空気圧については、「仕様」セクションを参照してください。)
2. デッキの刈り高の設定 (フロントとリアの調整点) がすべて同じ位置になっていることを確認します。
3. 前後方向と横方向でモアデッキレベルを点検します。(このセクションの「モアデッキレベルの点検」を参照してください。)



TCT010733—UN—28FEB14

4. 傾斜角度 (前後方向の水平調整) が適正ではない場合は、リアハンガーを調整します。
 - a. モアデッキを上げ、リフトアームの整備用ラッチを固定します。
 - b. リアハンガーのロックナット (A) を緩めます。
 - c. ハンガーピン (C) のリテーナリング (B) を取り外します。
 - d. ハンガーピン (C) を調整プレート (D) から取り外します。取り外した元の穴をメモしておきます。
 - e. ハンガーピンを回してリアハンガーを調整します。
 - 傾斜角度を大きくするにはリアハンガーを上調整します。
 - 傾斜角度を小さくするにはリアハンガーを下調整します。
 - f. ハンガーピンを調整プレート (D) の上から前の穴の位置に戻して挿入し、リテーナリングで固定します。
 - g. モアの反対側のハンガーについても上記の調整手順を繰り返します。
 - h. モアデッキを下げ、前後方向の水平を点検します。ブレードを回し、デッキで前後方向に向くようにします。
 - ブレードの高さをブレードの前端の刈り高の設定と合わせる必要があります。
 - ブレードの高さは、リアブレードの先端で 3~6 mm (1/8~1/4 in) 高くする必要があります。

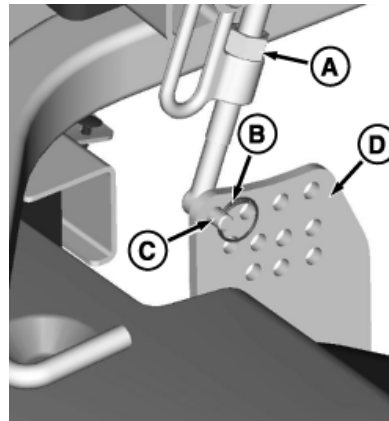
- i. 必要に応じて手順 A~H を繰り返します。



TCT010379—UN—20FEB14

注記：キャスターホイールスペーサアセンブリの下部に 6mm (1/4 in) スペーサ座金 (E) があります。この調整を行う際、6 mm (1/4 in) スペーサをキャスターホイールブラケットの上に移動しなければならない場合があります。

- j. モアの両側のロックナット (A) を締め付けます。
5. 傾斜角度を設定した後、横方向の水平を点検します。

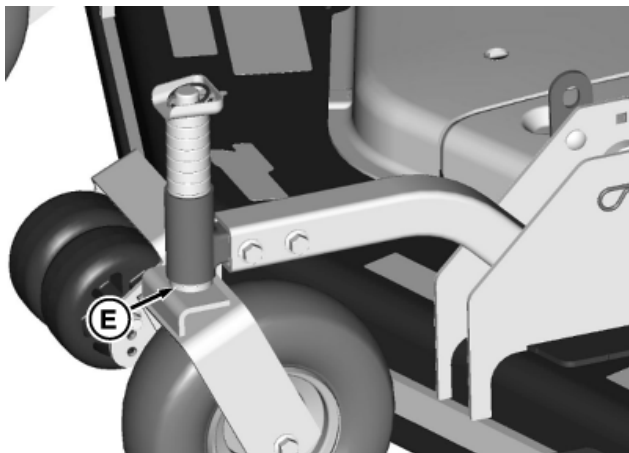


TCT010733—UN—28FEB14

6. 横方向のブレード先端の高さが 3 mm (1/8 in) 以内になっていない場合は、調整が必要です。
 - a. モアデッキを上げ、リフトアームの整備用ラッチを固定します。
 - b. リアハンガーのロックナット (A) を緩めます。
 - c. ハンガーピン (C) のリテーナリング (B) を取り外します。
 - d. ハンガーピン (C) を調整プレート (D) から取り外します。取り外した元の穴をメモしておきます。
 - e. ハンガーピンを回してリアハンガーを調整します。
 - デッキの一方を上げるには、そのリアハンガーを上調整します。(注記：これにより傾斜角度も大きくなります。)
 - デッキの一方を下げるには、そのリアハンガーを下調整します。(注記：これにより傾斜角度も小さくなります。)
 - f. ハンガーピンを調整プレート (D) の上から前の穴の位置に戻して挿入し、リテーナリングで固定します。
 - g. モアの反対側のハンガーについても調整が必要です。
 - h. モアデッキを下げ、横方向の水平を点検します。

操作

- i. 必要に応じて手順 A~H を繰り返します。



TCT010379—UN—20FEB14

注記：キャスターホイールスペーサアセンブリの下部に 6mm (1/4 in) スペーサ座金 (E) があります。この調整を行う際、6 mm (1/4 in) スペーサをキャスターホイールブラケットの上に移動しなければならない場合があります。

- j. モアの両側のロックナット (A) を締め付けます。

7. モアデッキレベルを点検します。このセクションの「モアデッキレベルの点検」を参照し、必要に応じて繰り返してください。

モアの接続

- 注意：** 回転ドライブラインに近づかないでください：
- 回転しているドライブラインに巻き込まれると、深刻な人身事故を引き起こす可能性があります。
 - 手、足、衣服を遠ざけてください。
 - すべてのシールドが正しく取り付けられ、使用されていることを確認してください。
 - PTO に近づく前に、エンジンを停止し、PTO ドライブラインが停止したことを確認してください。

注記：刈り作業中はエンジンをフルスロットルで運転してください。

1. エンジンを始動し、暖機します。
2. パーキングブレーキを解除します。
3. モアデッキを地表まで下げます。
4. スロットルをフルスロットル位置まで前に動かします。
5. PTO スイッチを ON 位置にし、モアのブレードを始動させます。
6. モアのブレードの接続を解除するには：
 - PTO スイッチを OFF 位置にし、モアのブレードを停止させます。
 - マスターブレーキペダルを踏み込みます。モアのブレードを再始動させるには、マスターブレーキを解除し、PTO スイッチを OFF にしてから PTO スイッチを ON にします。ブレードが始動します。

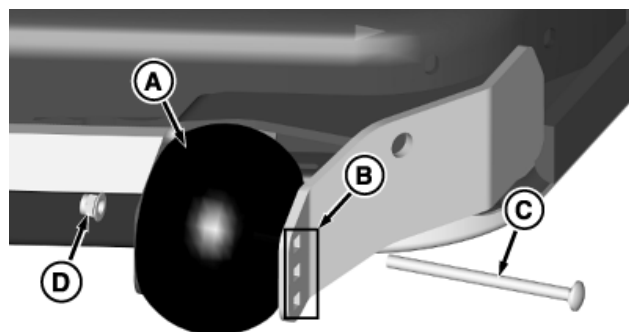
モアデッキのフロントアンチスカalpホイールの調整

- 注意：** 指、ゆったりした衣類、長い髪が回転部品に巻き込まれることがあります。オペレーターステーションから離れて機械の調整や整備を行う前に、エンジンおよび可動部が停止するのを待ってください。

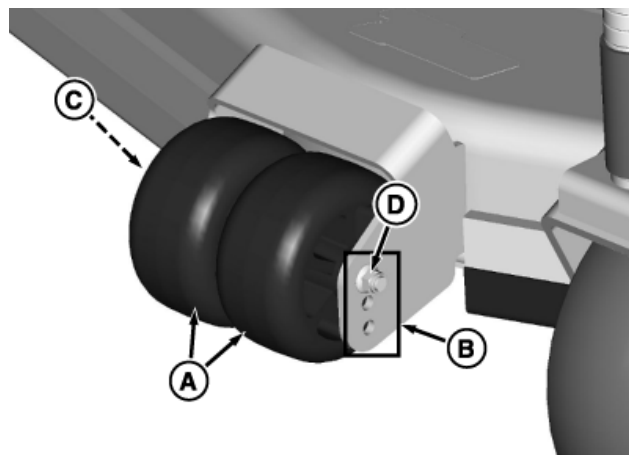
注記：すべてのアンチスカalpホイールを地表から離すように調整しないと、一様な刈り作業はできません。モアデッキの高さを変更するたびに、アンチスカalpホイールの調整を点検してください。

スカuffingを防ぐため、地面からすべてのアンチスカalpホイールを離すことを推奨します。

1. 機械のタイヤ空気圧を点検します。タイヤが適切な圧力になるまで空気を入れます。(タイヤ空気圧については、「仕様」セクションを参照してください。)
2. モアデッキを必要な刈り高になるよう調整します。



TCT008737—UN—26SEP13



TCT010380—UN—20FEB14

3. アンチスカalpホイール (A) を 3 つの位置 (B) のいずれかに調整します。
 - ボルト (C) とナット (D) を取り外します。
 - 刈る表面から約 6~13 mm (1/4~1/2 in) の高さになるようにホイールを上下に調整します。
4. 取り付け金具でホイールを取り付けます。
5. すべてのホイールを同じ高さに調整します。

点検間隔

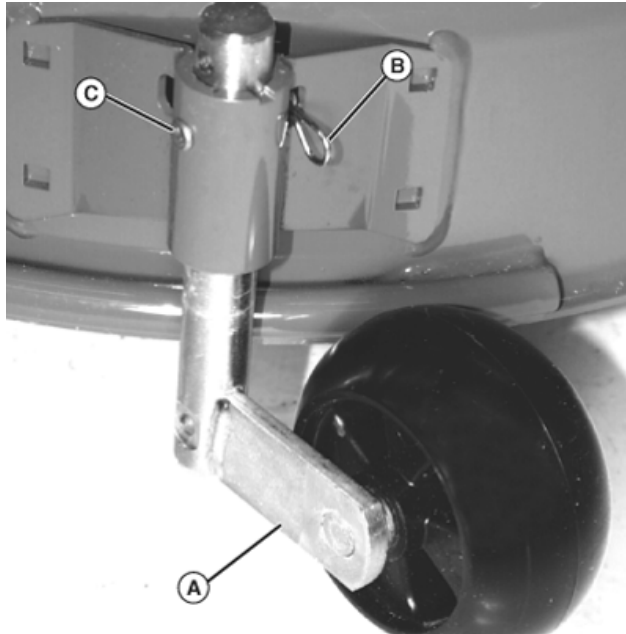
モアデッキのリアアンチスカalpホイールの調整

⚠ 注意： 指、ゆったりした衣類、長い髪が回転部品に巻き込まれることがあります。オペレータステーションから離れて機械の調整や整備を行う前に、エンジンおよび可動部が停止するのを待ってください。

注記： すべてのアンチスカalpホイールを地表から離すように調整しないと、一様な刈り作業はできません。モアデッキの高さを変更するたびに、アンチスカalpホイールの調整を点検してください。

スカuffingを防ぐため、地面からすべてのアンチスカalpホイールを離すことを推奨します。

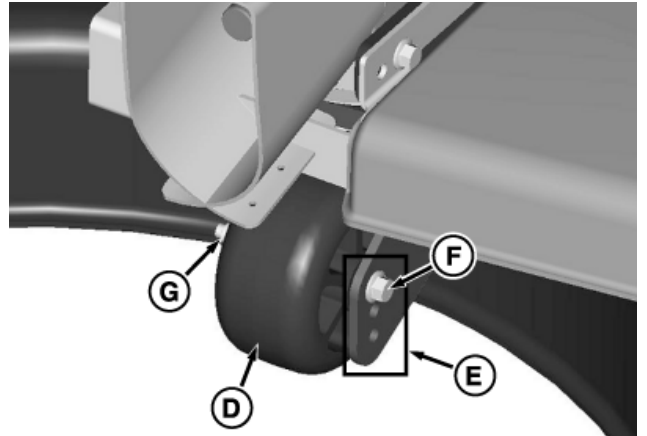
1. 機械のタイヤ空気圧を点検します。タイヤが適切な圧力になるまで空気を入れます。(タイヤ空気圧については、「仕様」セクションを参照してください。)
2. モアデッキを必要な刈り高になるよう調整します。



TCAL46568—UN—12APR13

3. コーナーのアンチスカalpホイール (A) を調整します。
 - スプリングピン (B) およびドリルピン (C) を取り外します。
 - 刈る表面から約 6~13 mm (1/4~1/2 in) の高さになるようにホイールを上下に調整します。

注記： 60 in デッキにはコーナーホイールが 1 個、72 in デッキには 2 個あります。



TCT010731—UN—27FEB14

4. 中央のアンチスカalpホイール (D) を 3 つの位置 (E) のいずれかに調整します。
 - ボルト (F) とナット (G) を取り外します。
 - 刈る表面から約 6~13 mm (1/4~1/2 in) の高さになるようにホイールを上下に調整します。
5. 取り付け金具でホイールを取り付けます。
6. すべてのホイールを同じ高さに調整します。

点検間隔

機械の整備

重要： 損傷を防止してください。高圧洗浄を行うと作業機の部品が損傷するおそれがあります。

極端な条件での運転により、整備間隔の短縮が必要になる場合があります。

- 極端な熱、ほこり、またはその他の過酷な条件で運転しているときは、エンジン部品の汚損や詰まりが発生することがあります。

- 機械を低速または低エンジン回転数で継続的に、または短期間頻繁に運転した場合、エンジンオイルが劣化する可能性があります。

次のタイムテーブルを参照して機械の定期メンテナンスを行ってください。

初期慣らし運転

- キャスターホイールピボットにグリースを塗布します。
- キャスターホイールの車軸にグリースを塗布します。
- モアデッキのブレードのスピンドルにグリースを塗布します。
- PTO シャフトにグリースを塗布します (5 か所)。
- モアデッキレベルを点検します。

毎回使用前

- ベルトシールドを取り外し、ドライブベルトを清掃して点検します。
- 部品に緩み、欠損、損傷がないか点検します。
- 必要に応じて、刈り高とゲージホイールを調整します。
- モアデッキのブレードを点検します。

整備潤滑

毎回使用後

- モアシステムから屑を取り除きます。
- 機械のエンクロージャシールド (157.5 cm (62 in デッキ)) 周辺に堆積した草を清掃します。
- 洗浄後、デッキを潤滑します。
 - キャストホイールピボットにグリースを塗布します。
 - キャストホイールの車軸にグリースを塗布します。
 - アンチスカalpホイール (152 cm (60 in) および 183 cm (72 in) デッキ) にグリースを塗布します。

最初の 10 時間後

- モアデッキのベルトの張力を調整します。

25 時間ごと

- PTO シャフトにグリースを塗布します (5 か所)。

50 時間ごと

- キャストホイールのタイヤを点検します。
- モアデッキのスピンデルにグリースを塗布します。

100 時間ごと

- モアデッキのベルトの張力を調整します。
- モアデッキのギアボックスオイルレベルを点検します。

250 時間ごと

- キャストホイールのサポートアームのブッシングを点検し、摩耗している場合は交換します。

500 時間ごと

- ギアボックスオイルを交換します。

整備潤滑

グリース

重要： 部品の故障や早期摩耗を回避するために、推奨される John Deere グリースを使用してください。

推奨 John Deere グリースは、平均気温 -29~135°C (-20~275°F) の範囲で有効です。

この温度範囲外で運転する場合は、特殊用途グリースについて整備取扱店にお問い合わせください。

次のグリースをお勧めします。

- John Deere Multi-Purpose SD Polyurea Grease

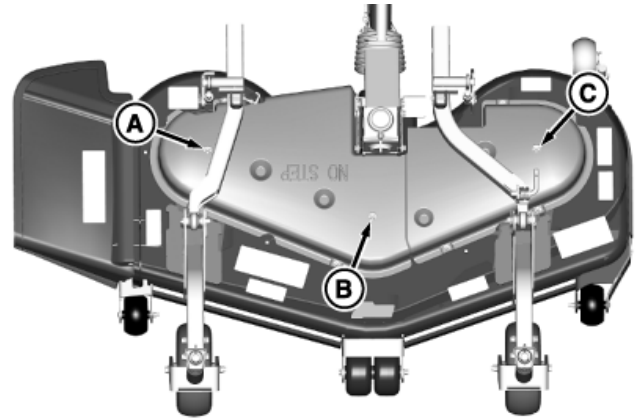
推奨グリースを使用していない場合は、NLGI Grade 2 の一般的な汎用グリースを使用していることを確認してください。

湿潤または高速条件では、特殊用途用のグリースを使用しなければならない場合があります。詳しくは、整備取扱店にお問い合わせください。

注記：一部の種類のグリース増ちょう剤は他のものと混合できません。違う種類のグリースを混合する前に、グリースの販売業者にお問い合わせください。

モアのブレードのスピンデルの潤滑

- モアデッキを完全に地表まで下げます。
- 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)



TCT008738—UN—26SEP13

- 推奨グリースで、ベルトシールド (A、B、C) の穴から 3 つのモアデッキスピンデルを潤滑します。
- 各スピンデルにつき、グリースガンで 6~10 回注入します。シールドから空気が押し出されると、小さな音が聞こえます。グリースを塗布しすぎても損傷することはありません。しかしブレードから飛び散る場合があるため、グリースを塗布しすぎないようにしてください。

アンチスカalpホイール (60、72 in) の潤滑



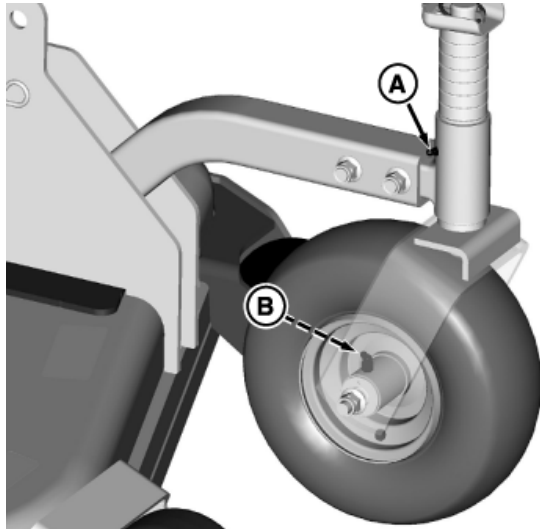
TCAL46570—UN—12APR13

- 車軸 (B) からグリースが浸み出てくるまで、グリースガンをグリースフィッティング (A) に注入してアンチスカalpホイールにグリースを塗布します。
- アンチスカalpホイールから余分なグリースを拭き取ります。

整備潤滑

キャスターホイール車軸とピボットの潤滑

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. モアデッキを完全に地表まで下げます。

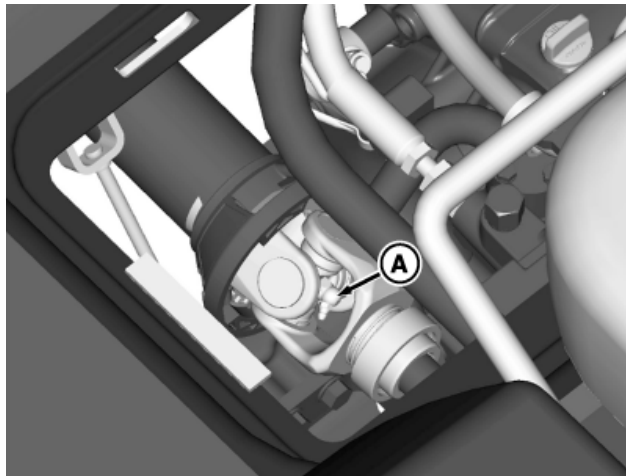


TCT008739—UN—26SEP13

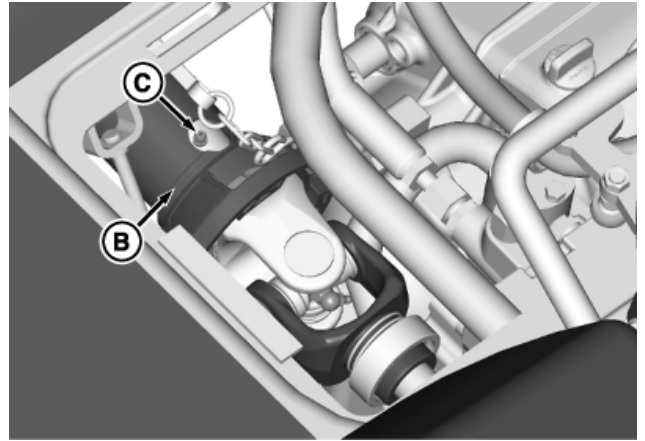
3. 推奨グリースで、モアデッキのキャスターホイールピボット (A) を潤滑します。
4. 推奨グリースで、キャスターホイールの車軸 (B) を潤滑します。

PTO ドライブシャフトの潤滑

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)

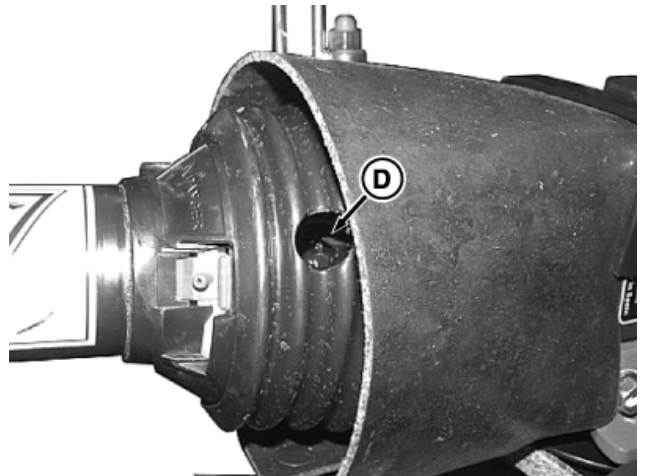


TCT008956—UN—26SEP13



TCT008957—UN—26SEP13

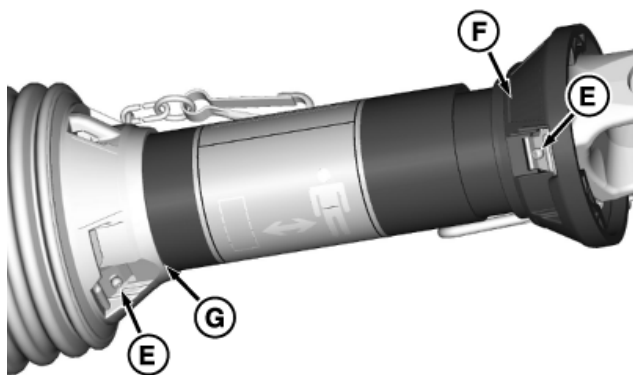
2. 機械の整備用ハッチを開きます。
3. グリースフィッティング (A) が上に向くまで、PTO ドライブシャフトを手で回します。
4. グリースフィッティング (C) が上に向き、ガードの穴から見えるまで、PTO ドライブシャフトとシャフトガード (B) を回します。
5. グリースフィッティングにグリースガンを設置し、ユニバーサルジョイント内部の 4 個のベアリングキャップの内側からグリースが浸み出るまで、グリースガンで注入します。



TCT008958—UN—26SEP13

6. ユニバーサルジョイント内部のグリースフィッティングがシールドの穴 (D) から見えるまで、手で PTO ドライブシャフトを回します。
7. ユニバーサルジョイント内部のベアリングキャップからグリースが浸み出るまで、グリースをフィッティングに注入します。

モアの整備



TCT010732—UN—27FEB14

8. 内側 (F) と外側 (G) のシャフトガードにあるグリースフィッティング (E) にグリースを注入します。
9. 機械の整備用ハッチを閉じ、ロックします。

モアの整備

モアデッキの清掃

重要： 損傷を防止してください。高圧洗浄を行うと作業機の部品が損傷するおそれがあります。

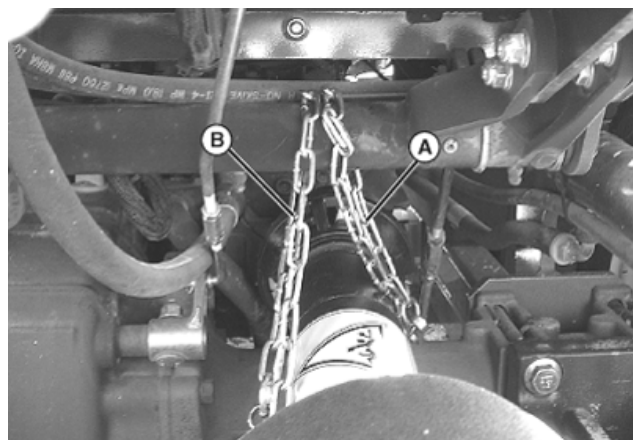
毎回使用前にデッキシールドの下とエンジンルームの中を清掃し、機械に草が堆積しないようにしてください。

1. モアデッキからベルトシールドを取り外し、ベルトとシーブの周囲から草や屑を取り除きます。
2. 62 in 後面排出型デッキを装着した機械では、シートのプラットフォームを上げ、エンジンカバーを開けて、エンジンルームから草や屑を取り除きます。

モアデッキの回転

整備時のモアデッキの回転

1. モアデッキを完全に上げます。
2. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)

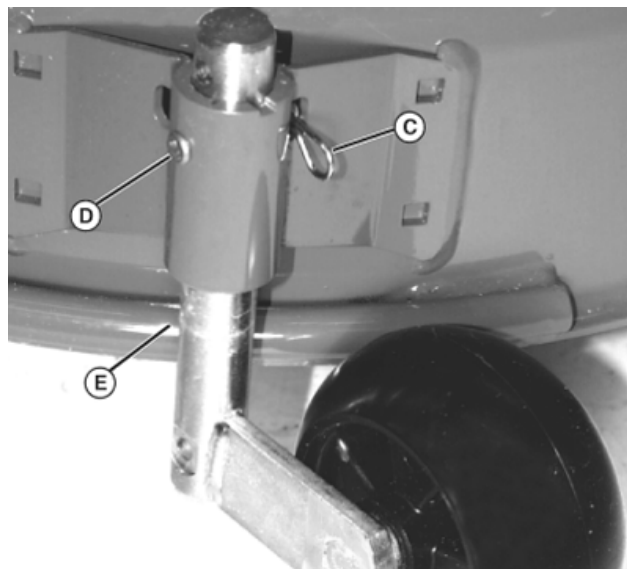


TCAL46574—UN—12APR13

3. フロント (A) とリア (B) のドライブシャフトのシールドのチェーンをブレーキクロスシャフトから取り外します。

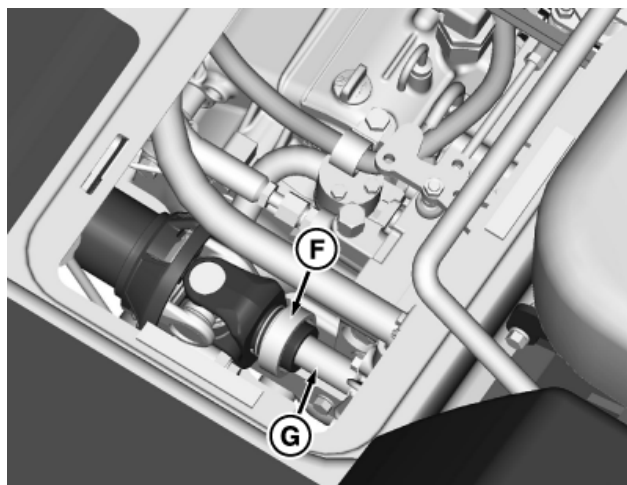
⚠ 注意： 整備用ラッチをかけます。油圧が失われると、モアデッキが落下するおそれがあります。

4. 整備用ラッチをかけます。



TCAL46575—UN—12APR13

5. 60 および 72 in モアデッキのみ：アンチスカルプホイールブラケット (E) をモアデッキの左側に保持しているドリルピン (D) からスプリングピン (C) を取り外します。
6. アンチスカルプホイールをモアデッキから取り外します。



TCT008959—UN—26SEP13

7. 機械の整備用ハッチを開きます。
8. モアデッキの PTO ドライブシャフトにあるカブラーリング (F) を前に引っ張ります。機械の PTO アウトプットシャフト (G) のドライブシャフトを引き抜きます。

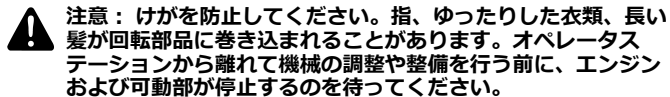
Diagram illustrating the removal of the footplate. A screwdriver is used to remove the screw (H) that secures the footplate (J) to the base. The footplate is then lifted away from the base.

25

モアの整備

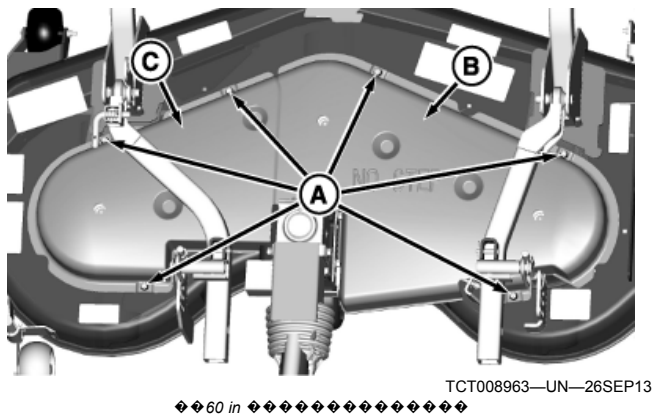
8. アンチスカルブホイールをモアデッキに取り付けます。
9. 整備用ラッチのロックを解除します。
10. モアデッキを地表まで下げます。
11. アンチスカルブホイールを水平な地面から 6 mm (1/4 in) に調整します。

ベルトシールドの取り外しと取り付け

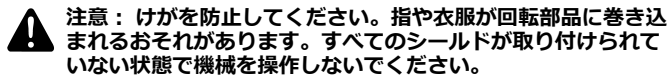


注記：ベルトシールドの取り外しと取り付けの手順は、すべてのデッキサイズで同じです。

1. モアデッキを整備時の位置に回すか、モアデッキを機械から取り外します。



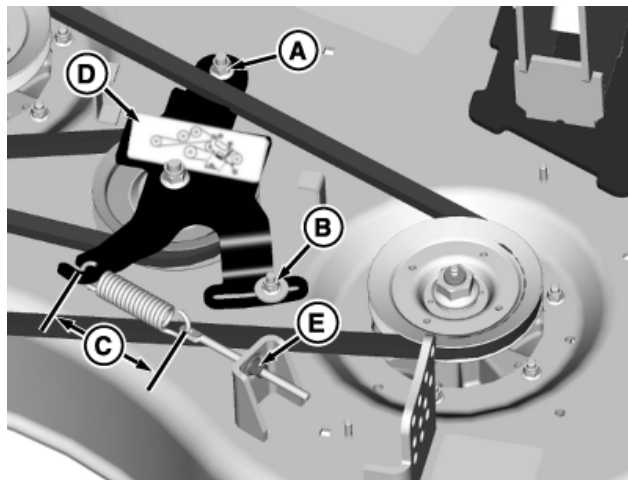
2. 右 (B) と左 (C) のベルトシールドをモアデッキに固定している固定ナット (A) と座金を緩めます。
3. ベルトシールドを持ち上げて取り付けボルトから離します。
4. ベルトシールドを取り付け、6 本の固定ナット (A) を締め付けます。



5. モアデッキを交換するか、作業位置にモアデッキを回します。

ドライブベルトの張力の調整

1. モアデッキのベルトシールドを取り外します。
2. モアデッキを地表まで下げます。
3. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)



TCT008966—UN—27FEB14

60 in

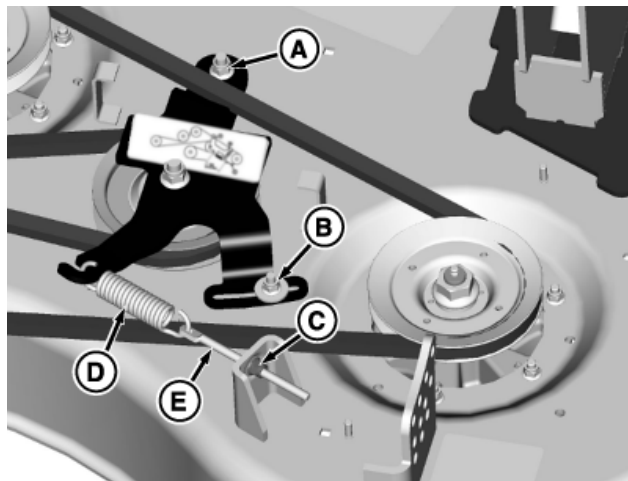
4. ナット (A、B) を緩めます。
5. フックからフックまでのベルト張力スプリングの長さ (C) を測定します。
 - アイドラアームのラベル (D) の記載に従って長さを調整します。
6. ベルト張力スプリングが適正な長さになるまでナット (E) を調整します。
7. ナット (A、B) を締め付けます。
8. ベルトシールドを取り付けます。

ドライブベルトとギアボックスの取り外しと取り付け (GLC デッキ以外)

注記： 特に指示されている場合を除き、ドライブベルトとギアボックスの取り外しと取り付けの手順はすべてのデッキサイズで同じです。

取り外し

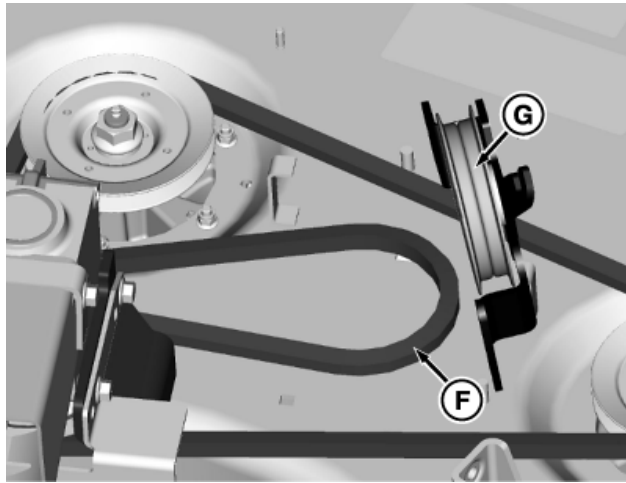
1. モアデッキを地表まで下げます。
2. モアデッキのベルトシールドを取り外します。
3. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)



TCT008967—UN—27FEB14

◆ ◆ 60 in ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

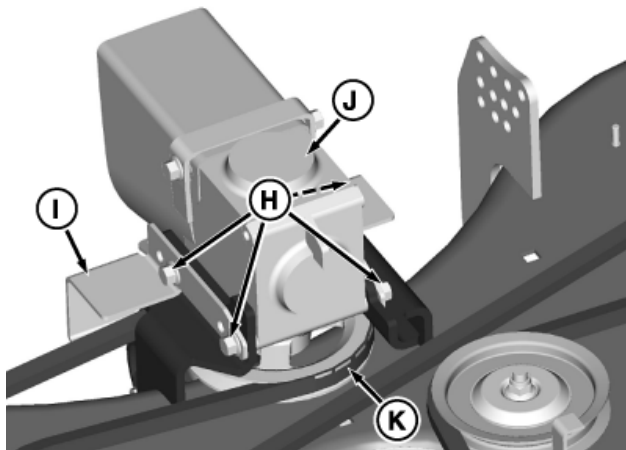
4. ナット (A、B) を緩めます。
5. ナット (C)、張カスプリング (D) およびロッド (E) をモアデッキから取り外します。
6. ナットと座金を (A) と (B) から取り外します。



TCT008968—UN—07OCT13

60 in

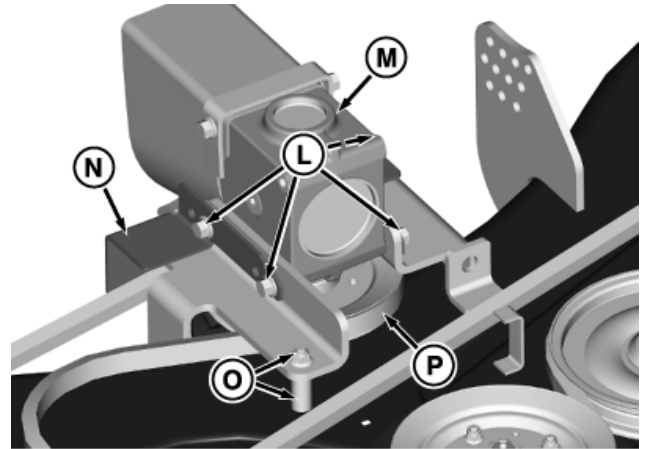
7. ドライブベルト (F) をベルトテンショナのシーブ (G) から取り外します。



TCT008969—UN—07OCT13

60 in

8. **60 in 側面排出型および 62 in 後面排出型デッキ :**
- a. ガードブラケット (I) とギアボックス (J) をモアデッキ取り付けブラケットに固定しているボルト 4 本 (H) を取り外します。
 - b. ギアボックスを取り付けブラケットからスライドさせて出します。
 - c. ドライブベルト (K) をシーブから取り外します。



TCT008989—UN—27FEB14

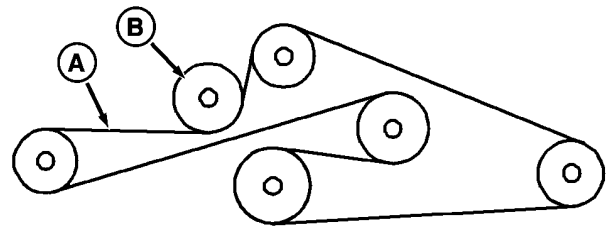
72 in

9. **72 in 側面排出型デッキの場合：**
- ギアボックス (M) とガードブラケット (N) をモアデッキ取り付けブラケットに固定しているボルト 4 本 (L) を取り外します。
 - ボルトとサポートブッシング (O) を取り外します。
 - ギアボックスを取り付けブラケットからスライドさせて出します。
 - ドライブベルト (P) をシーブから取り外します。

取り付け

取り付けは、取り外しと逆順に行います。

注記：モアデッキのアイドルアームのベルトの取り回し図を参照してください。



TCT008970—UN—07OCT13

? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ? ?

1. ドライブベルト (A) をモアデッキのシーブの周りに通します。
2. シーブ (B) のナットを緩め、ベルトを取り付けやすくします。
3. ギアボックスとガードブラケットをボルト 4 本で固定します。ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ギアボックスのボルト - トルク 73 N·m (54 lb.-ft.)

4. **183 cm (72 in) デッキのみ**：サポートブッシング、ボルト、およびナットを取り付けます。
5. モアデッキのドライブベルトの張力を調整します。(このセクションの「ドライブベルトの張力の調整」を参照してください。)

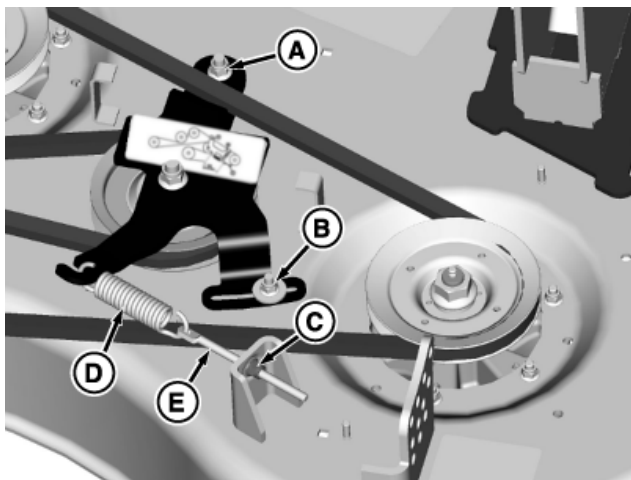
ドライブベルトとギアボックスの取り外しと取り付け (GLC デュク)

注記：特に指示されている場合を除き、ドライブベルトとギアボックスの取り外しと取り付けの手順は両方の GLC デッキで同じです。

モアの整備

取り外し

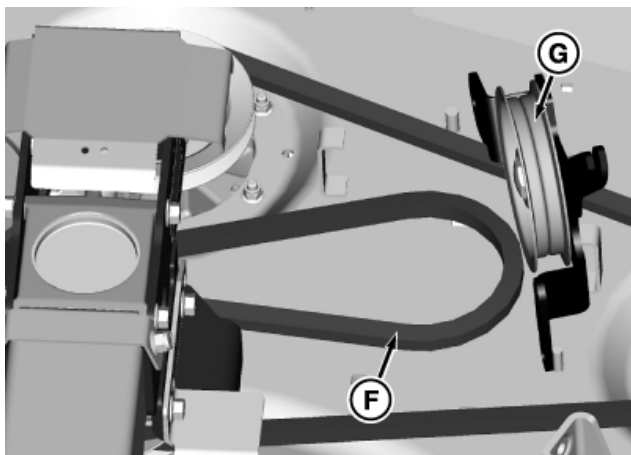
1. モアデッキを地表まで下げます。
2. モアデッキのベルトシールドを取り外します。
3. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)



TCT008967—UN—27FEB14

60 in GLC

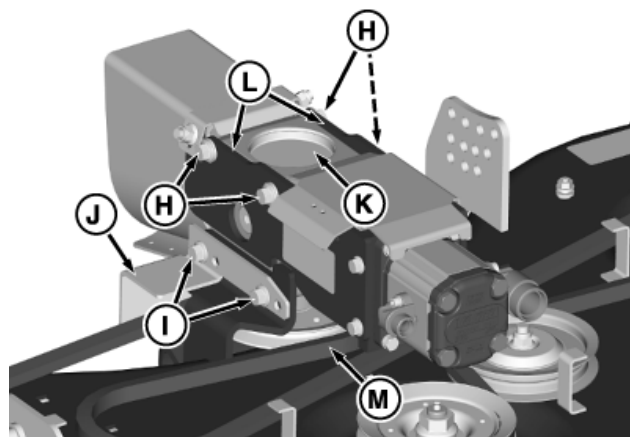
4. ナット (A、B) を緩めます。
5. ナット (C)、張カスプリング (D) およびロッド (E) をモアデッキから取り外します。
6. ナットと座金を (A) と (B) から取り外します。



TCT008974—UN—07OCT13

60 in GLC

7. ドライブベルト (F) をベルトテンショナのシーブ (G) から取り外します。



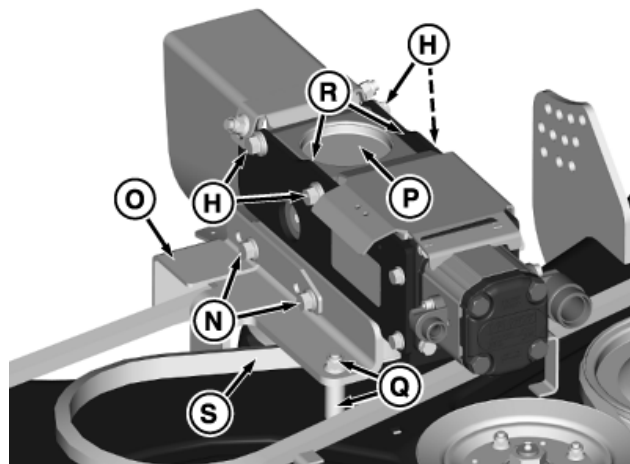
TCT008975—UN—27FEB14

◆◆60 in GI C ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

8. 60 in GLC デッキ :

重要： 損傷を防止してください。この手順を行っている間、上部の4本のボルト (H) を緩めたり取り外さないでください。ボルトを緩めると、ポンプのカプラーのアライメントが狂います。

- ガードブラケット (J) とギアボックス (K) をモアデッキ取り付けブラケットに固定しているボルト 4 本 (I) を取り外します。
- ギアボックスとポンプ取り付けブラケット (L) を取り付けブラケットからスライドさせて出します。
- ドライブベルト (M) をシェーブから取り外します。



TCT009102—UN—27FEB14

72 in GLC

9. 72 in GLC デッキ :

重要： 損傷を防止してください。この手順を行っている間、上部の 4 本のボルト (H) を緩めたり取り外さないでください。ボルトを緩めると、ポンプのカプラーのアライメントが狂います。

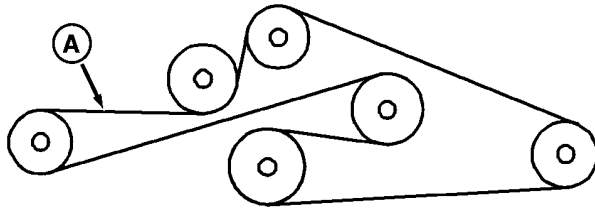
- ガードブラケット (O) とギアボックス (P) をモアデッキ取り付けブラケットに固定しているボルト 4 本 (N) を取り外します。
- ボルトとサポートブッシング (Q) を取り外します。
- ギアボックスとポンプ取り付けブラケット (R) を取り付けブラケットからスライドさせて出します。
- ドライブベルト (S) をシーブから取り外します。

取り付け

取り付けは、取り外しと逆順に行います。

モアの整備

注記：モアデッキのアイドルアームのベルトの取り回し図を参照してください。



TCT008976—UN—07OCT13

1. ドライブベルト (A) をモアデッキのシーブの周りに通します。
2. シーブ (B) のナットを緩め、ベルトを取り付けやすくします。
3. ギアボックスとガードブラケットをベルト 4 本で固定します。ベルトを規定のトルクで締め付けます。

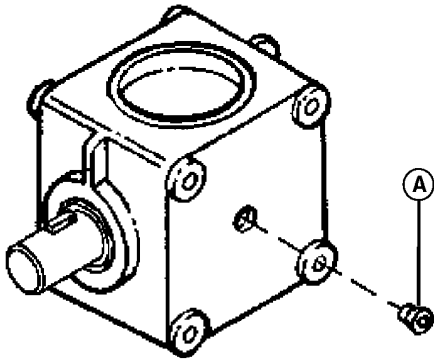
仕様

ギアボックスのボルト トルク 73 N·m (54 lb.-ft.)

4. **183 cm (72 in) GLC デッキのみ**：サポートブッシング、ボルト、およびナットを取り付けます。
5. モアデッキのドライブベルトの張力を調整します。(このセクションの「ドライブベルトの張力の調整」を参照してください。)

ギアボックスオイルレベルの点検

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. モアが作業位置で水平になっていることを確認します。

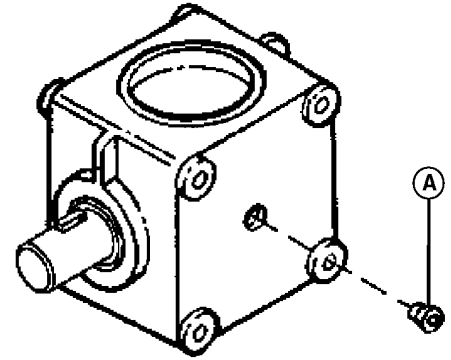


TCAL46590—UN—12APR13

3. 点検プラグ (A) を取り外します。オイルは穴の底部と同じ高さになるようにします。
4. 必要に応じて、点検プラグの穴からオイルを追加します。
5. 点検プラグを取り付けて締め付けます。

ギアボックスオイルの交換

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. ドライブベルトとギアボックスを取り外します。

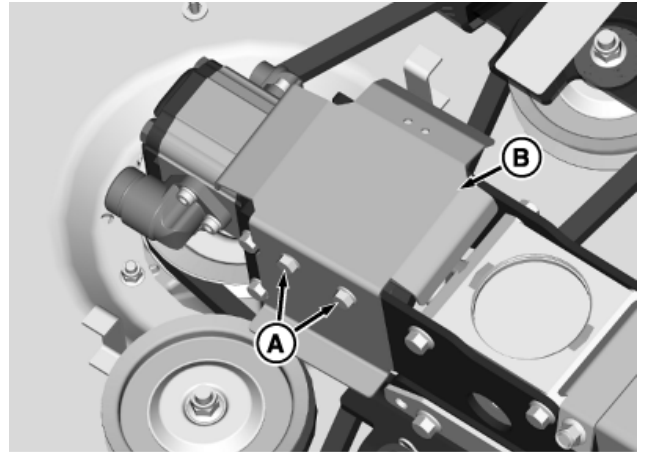


TCAL46591—UN—12APR13

3. 点検プラグ (A) を取り外し、ギアボックスを横の適切な容器の上に傾け、ギアボックスオイルを完全にドレンします。
4. ギアボックスとドライブベルトを取り付けます。
5. オイルが穴の底部と同じ高さになるまで点検プラグの穴からオイルを追加します。
6. 点検プラグを取り付けて締め付けます。

ギアボックスオイルの交換 (GLC デッキ)

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. ベルトシールドを取り外します。
3. ドライブベルトをギアボックスから取り外します。

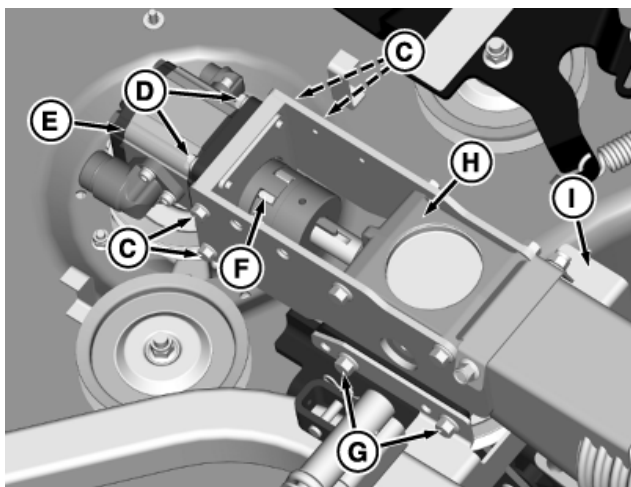


TCT009184—UN—26OCT13

4. ボルト 2 本 (A) と保護カバー (B) を取り外します。

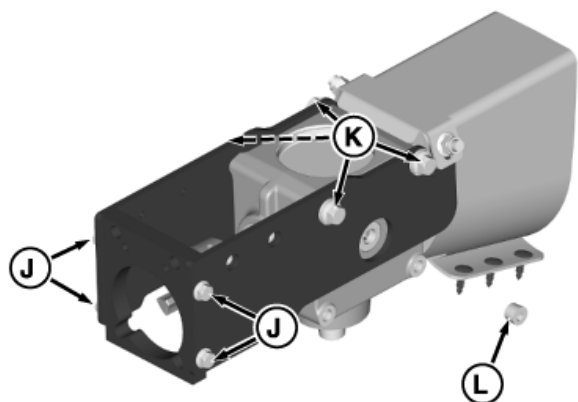
重要： 損傷を防止してください。ポンプ取り付けブラケットのボルト (C) は取り外さないでください。ポンプ取り付けブラケットは、カブラーのアライメントが狂うのを防止するため、製造時に方向調整されています。

モアの整備



TCT009186—UN—27FEB14

5. 4本のポンプ取り付けボルト (D) を取り外します。
6. ポンプ (E) をギアボックスから取り外します。カプラーの半分とスパイダー (F) がポンプとともに外れます。
7. ギアボックス (H) とシールド (I) をモアデッキ取り付けブラケットに固定しているボルト 4 本 (G) を取り外します。カプラーの半分がギアボックスとともに外れます。

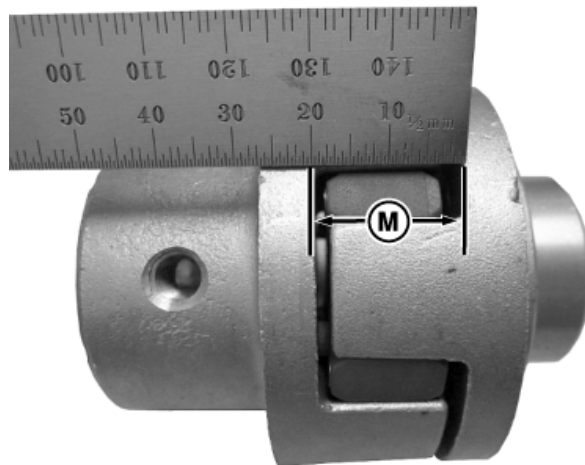


TCT009185—UN—27FEB14

8. 点検プラグ (L) を取り外し、ギアボックスを横の適切な容器の上に傾けます。ギアボックスオイルを完全にドレンします。
- 注記：ポンプ取り付けブラケットを取り外したり緩めないでください。オイルの交換は、ボルト (J) やギアボックス上部のボルト 4 本 (K) に触れないように行う必要があります。

重要：損傷を防止してください。カプラーを交換する際は、スパイダーも交換する必要があります。

9. ギアボックスのカプラーとポンプのシャフトを点検します。必要に応じて交換します。
10. ベルトをシーブの周りに巻きます。ギアボックスサブアセンブリとシールドブラケットを取り付けます。
11. オイルが穴の底部と同じ高さになるまで点検プラグの穴からオイルを追加します。
12. 点検プラグを取り付けて締め付けます。



TCT010743—UN—17MAR14

13. ギアボックスでカプラー半分をアライメントのガイドとして使用し、ポンプをカプラー半分とスパイダーとともに取り付けます。カプラー半分の間の隙間 (M) が基準値になっていることを確認します。

仕様

カプラー半分 — 隙間 20 mm (0.787 インチ)

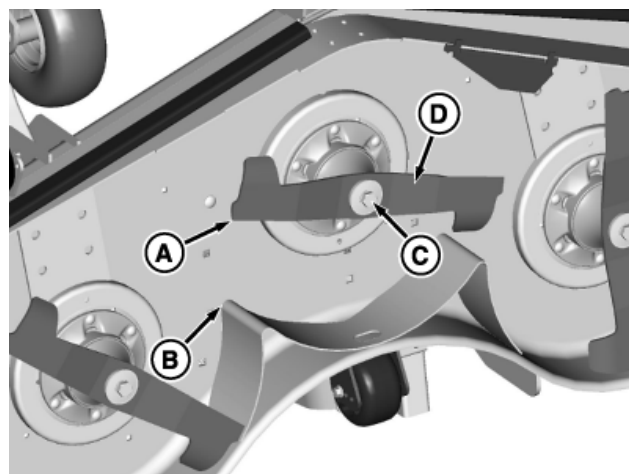
14. 保護カバーを取り付けます。
15. ベルトシールドを取り付けます。

ブレードの取り外しと取り付け

1. モアデッキを完全に上げます。
2. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
3. リフトアームの整備用ラッチをかけます。
4. モアデッキを整備位置に回します。

注意：けがを防止してください。回転しているブレードは危険です。モアの調整や整備の前に：

- エンジンが急に始動しないように、スパークプラグワイヤまたはバッテリーのマイナス (-) ケーブルの接続を外してください。
- モアのブレードを取り扱ったりブレードの近くで作業するときは、必ず手袋を着用してください。



TCT009105—UN—08OCT13

トラブルシューティング

5. ブレード (A) の端とデッキ (B) の端の間に木製ブロックを入れて、ブレードの金具の取り外しの際にブレードが回転しないようにします。
6. ボルトを反時計回りに回し、ボルトと座金 (C) を取り外します。ブレード (D) をスピンドルから取り外します。整備を要するすべてのブレードについて繰り返します。
7. ブレードに損傷がないか点検します。損傷しているブレードはすべて交換します。
8. 鈍くなったブレードを研ぎます。
9. ブレード、スピンドル、および金具を清掃します。
10. ブレードのバランスを調整します。
11. ブレードのウイングが上に向くようにして、ブレードをモアデッキのスピンドルに取り付けます。
12. 座金のカップ側をブレードに当てて、ブレードのボルトと座金を取り付けます。ブレードのボルトを規定のトルクで締め付けます。他のブレードについても繰り返します。

仕様

ブレードのボルト - トルク.....122 N·m (90 lb.-ft.)

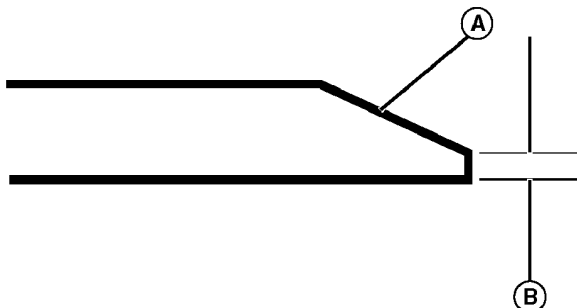
13. モアデッキを完全に下げます。

ブレードの研ぎ

注意：けがを防止してください。ブレードは鋭利です。ブレードを取り扱う時、またはブレードの周辺で作業する場合は、必ず手袋を着用してください。

研磨作業を行なう時は、必ず目の保護具を着用してください。

- ブレードの研ぎには、グラインダー、やすり、または電動のブレードシャープナーを使用してください。



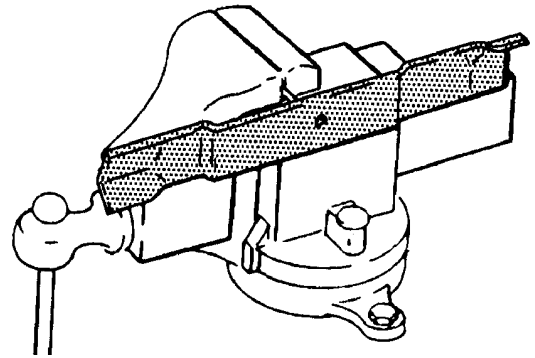
TCAL46593—UN—12APR13

- 研磨時は元の先端の斜角 (A) を残します。
- ブレードの刃先は0.40 mm (1/64 in) 未満にする必要があります。
- ブレードを取り付ける前にバランス調整を行います。

ブレードのバランス調整

注意：けがを防止してください。ブレードは鋭利です。ブレードを取り扱う時、またはブレードの周辺で作業する場合は、必ず手袋を着用してください。

1. ブレードを清掃します。



TCAL46594—UN—12APR13

2. ブレードを万力のツメに置きます。ブレードを水平にします。
3. バランスを点検します。バランスが取れていない場合、重い方の端が下がります。
4. 重い方の端部の斜角を研削します。ブレードの斜角を変えないでください。

トラブルシューティング

トラブルシューティング表の使用

この表に掲載されていない問題が発生している場合は、整備について認定取扱店にお問い合わせください。

掲載されているすべての原因を確認し、引き続き問題が発生している場合は、認定取扱店にお問い合わせください。

問題	点検
モアデッキに草が詰まる	草が濡れているか、長すぎます。 刈り作業中にエンジンがフルスロットルで動作していません。 デッキの後部が低すぎます。
刈られていない草の区域がある	走行速度が高すぎます。 エンジンをフルスロットルにしてください。 ブレードの切れが鈍くなっています。 刈り高の設定が高すぎます。 ブレードが正しく取り付けられていません。
ベルトが滑る	モアベルトの張力が正しく設定されていません。 シーブ内に屑が混入しています。 ベルトが磨耗しています。
モアのブレードが停止しない	ベルトの取り回しが間違っています。 モアベルトの張力を調整する必要があります。
振動が強すぎる	モアデッキまたはブーリーに異物が混入しています。 駆動ベルトが損傷しています。 損傷したブーリーまたはブーリーのアライメントがずれています。 ブレードのバランスがとれていません。 ベアリングが損傷しています。
切断が不均一	モアデッキの水平を調整します。 走行速度が高すぎます。 ブレードが鈍くなっています。 タイヤ空気圧を点検します。
ブレードが草の先端のみ刈っている	旋回速度が高すぎます。 地面に背の部分があります。

仕様

問題	点検
	地面に凹凸があります。 タイヤ空気圧が低すぎます。 刈り高が低すぎます。 ブレードが曲がっています。
モアデッキによりトラクターに下向きの負荷がかかる	エンジンをフルスロットルにしてください。 走行速度が高すぎます。 モアのスピンドルの周囲に屑が巻き付いています。 デッキが前後方向に正しく水平調整されていることを確認します。 草の状態。 刈り高の設定が低すぎます。
刈り取った草が不均一	刈り高の設定が低すぎます。 刈り速度が速すぎる。 草が濡れすぎています。

仕様

60 in モアデッキ (側面排出型)

刈り高の範囲..... 25~152 mm (1~6 in)
ウエイト..... 184 kg (405 lb)
刈り幅..... 152.4 cm (60 in)
全幅..... 186.7 cm (73.5 in)

60 in GLC モアデッキ (側面排出型)

刈り高の範囲..... 25~152 mm (1~6 in)
ウエイト..... 189 kg (416 lb)
刈り幅..... 152.4 cm (60 in)
全幅..... 186.7 cm (73.5 in)

62 in モアデッキ (後面排出型)

刈り高の範囲..... 25~152 mm (1~6 in)
ウエイト..... 180 kg (397 lb)
刈り幅..... 157.5 cm (62 in)
全幅..... 163.8 cm (64.5 in)

72 in モアデッキ (側面排出型)

刈り高の範囲..... 25~152 mm (1~6 in)
ウエイト..... 224 kg (493 lb)
刈り幅..... 182.9 cm (72 in)
全幅..... 218.4 cm (86 in)

72 in GLC モアデッキ (側面排出型)

刈り高の範囲..... 25~152 mm (1~6 in)
ウエイト..... 229 kg (504 lb)
刈り幅..... 182.9 cm (72 in)
全幅..... 218.4 cm (86 in)

タイヤの寸法

キャストのタイヤ..... 11 x 4-5

タイヤ空気圧

機械のタイヤ..... 機械の点検間隔ラベルを確認してください
モアデッキのキャストのタイヤ..... セミ空気圧式

容量

ギアボックスの容量..... 0.4 L (13.5 oz)

推奨潤滑剤

ギアボックスオイル..... GL-5 (90W)
グリース..... 「整備潤滑」セクション参照

締め付けトルク

ブレード取り付けボルト..... 122 N・m (90 lb-ft)
ギアボックス取り付けボルト..... 73 N・m (54 lb-ft)
キャストアームとデッキ間のボルト..... 81 N・m (60 lb-ft)
ドライブシャフトとギアボックス間のボルト..... 122 N・m (90 lb-ft)

適合宣言

適合宣言

EC 適合宣言

John Deere
Moline, Illinois U.S.A.

下記に記名した人間が以下を宣言します。

機械の種類：側面排出型モアデッキ (60 in モア輸出モデル)
モデル：1.52 M (60 in) 刈り幅
機械の種類：後面排出型モアデッキ (62 in モア輸出モデル)
モデル：1.58 M (62 in) 刈り幅
機械の種類：側面排出型モアデッキ (72 in モア輸出モデル)
モデル：1.83 M (72 in) 刈り幅
機械の種類：側面排出型 GLC モアデッキ (60 in モア輸出モデル)
モデル：1.52 M (60 in) 刈り幅
機械の種類：側面排出型 GLC モアデッキ (72 in モア輸出モデル)
モデル：1.83 M (72 in) 刈り幅
シリアル番号：製品識別ページ参照

この機械は以下の指令と関係するあらゆる規定および基本要件にすべて適合します。

指令	番号	認定方法
機械指令	2006/42/EC	自己認定

技術構成ファイルの編集を許可したコミュニティに属する人物の氏名および住所

Brigitte Birk
John Deere GmbH & Co. KG
Mannheim Regional Center
John Deere Strasse 70
D-68163 Mannheim

宣言場所：Fuquay Varina, NC USA

宣言日：2014 年 6 月 30 日

製造部門：John Deere Turf Care



DXCE01—UN—28APR09

Elizabeth M. Harris

TCT002177—UN—07DEC12



氏名：Elizabeth M Harris

役職：製品安全コンプライアンス上級エンジニア

整備のお問い合わせ

整備マニュアル

この機械の部品カタログや技術マニュアルのコピーをお求めの場合は、次の連絡先にご連絡ください。

- **米国/カナダ**： 1-800-522-7448.
- **その他の地域**： John Deere 取扱店。

部品

John Deere 取扱店から入手可能な John Deere の高品質部品および潤滑剤をお勧めします。

部品を注文される場合、John Deere 取扱店はお客様の機械やアタッチメントのシリアル番号や製品識別番号を必要とします。これらの番号は、このマニュアルの「製品識別」セクションに記録した番号です。

整備部品のオンライン注文

インターネット経由の部品の注文と情報については、<http://JDParts.deere.com> にアクセスしてください。

高品質な整備で John Deere 製品の高い品質を維持

お近くの John Deere 取扱店が提供する部品と整備サポートで製品の高い品質を維持できるよう、John Deere ではお客様のご質問や技術的な問題に対応するためのプロセスを提供しています。

お使いの製品に関して問題がある場合は、以下の手順でお問い合わせください。

1. アタッチメント、作業機または装置のオペレータマニュアルをご確認ください。
 2. 解決できない問題がある場合は、お近くの John Deere 取扱店にご連絡ください。
 3. 北米またはカナダでは、John Deere カスタマーコンタクトにご連絡ください。
- 1-800-537-8233 にお電話のうえ、製品のシリアル番号およびモデルをお知らせください。

索引

PTO、接続	P	飛来物によるけがの防止	6
アンチスカルプホイール	ア	刈り高、調整	刈
フロント、調整			17
リア、調整		潤滑、整備	潤
ギアボックスオイル	キ	PTO ドライブシャフト	23
レベル、点検		アンチスカルプホイール (60、72 in.)	22
交換		キャスターホイール車軸とピボット	23
交換、GLC デッキ		モアのブレードのスピンドル	22
グリース	ク	整備	整
タイヤ空気圧	タ	整備間隔	
ドライブベルト	ト	50 時間ごと	22
取り外しと取り付け		100 時間ごと	22
GLC デッキ		250 時間ごと	22
GLC デッキ以外		500 時間ごと	22
張力、調整		整備用ラッチ、使用	16
トラブルシューティング表		装置の保管	装
バラスト要件	ハ		16
1435, 1445, 1545, 1565		点検間隔	点
1550, 1570, 1575, 1580, 1585		25 時間ごと	22
ブレード	フ	最初の 10 時間後	22
取り外しと取り付け		初期慣らし運転	21
ブレード		毎回使用後	22
バランス調整		毎回使用前	21
研ぎ			
フロントホイールトラック幅、調整			
ベルトシールド、取り外しと取り付け	ヘ		
ホイール、モアデッキゲージ	ホ		
フロント、調整			
リア、調整			
モアデッキ	モ		
ベルトシールド、取り外しと取り付け			
整備時と作業時の回転			
清掃			
モアデッキ、GLC 以外			
取り外し			
取り付け			
モアデッキレベル			
調整			
点検			
安全	安		
安全な保管			
安全ラベル、テキストなし			
けがの防止とオペレータマニュアルの確認			
位置、62 in 後面排出型			
位置、62 in 後面排出型を除く			
回転シャフトやドライブラインによるけがの防止			
回転シャフトやドライブラインによるけがの防止			
(MCS デッキ)			
回転ブレードによるけがの防止			
回転ブレードや飛来物によるけがの防止			

